

令和7年度第2回佐賀市立図書館協議会

令和8年3月19日(木) 14:00～

佐賀市立図書館本館 多目的ホール

会 次 第

1. 館長挨拶
2. 委員紹介・職員紹介
3. 協議会
 - (1) 会長・副会長選出
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 議事
 - ① 「第3次佐賀市立図書館サービス計画」の一部改訂について
 - ② 令和8年度佐賀市立図書館事業計画について
 - ③ 図書館本館大規模改修事業について

佐賀市立図書館協議会委員名簿

(任 期) 令和7年12月1日～令和9年11月30日

No.	種 別		氏 名	備 考
1	委員	推薦	しらね けいこ 白根 恵子	佐賀女子短期大学 名誉教授
2	委員	推薦	よこやま ちはる 横山 千晴	佐賀市立三瀬中学校 校長
3	委員	推薦	あらき けん 荒木 健	佐賀市 PTA 協議会
4	委員	推薦	おおた まさこ 太田 昌子	図書館を友とする会・さが
5	委員	推薦	はらだ たかひろ 原田 隆博	佐賀新聞社
6	委員	一般公募	うめざき よしたか 梅崎 義高	
7	委員	一般公募	くろき ゆみ 黒木 由美	
8	委員	一般公募	にしごおり ゆきこ 西郡 幸子	

図書館協議会関係法令

『図書館法』（抄）

（図書館協議会）

第14条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第15条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会(特定図書館に置く図書館協議会の委員にあつては、当該地方公共団体の長)が任命する。

第16条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

『佐賀市立図書館条例』（抄）

（図書館協議会）

第9条 法第14条の規定に基づき、図書館に佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、15人以内の委員をもって組織する。

3 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、及び学識経験のある者並びに公募した者の中から、教育委員会が任命する。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 委員は、再任されることができる。

『佐賀市立図書館条例施行規則』（抄）

（図書館協議会）

第16条 条例第9条に規定する佐賀市立図書館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
(平12教委規則7・旧第15条線下)

（会議）

第17条 協議会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
(平12教委規則7・旧第16条線下)

（庶務）

第18条 協議会の庶務は、図書館において処理する。(平12教委規則7・旧第17条線下)

第 3 次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）『概要版』

（令和 8 年度～大規模改修後の開館前 ※令和 10 年度中予定）

図書館サービス計画とは？

第 3 次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）は、第 3 次佐賀市総合計画と第 5 次佐賀市教育振興基本計画を上位計画とし、令和 8 年度から本館大規模改修後の開館前までの、**佐賀市立図書館のサービスの基本方針を示すもの**です。

基本理念：『市民と共に育つ図書館』

市民にとって利用しやすく役に立つ身近な図書館として成長していけるよう、『市民と共に育つ図書館』を理念として、常に自己変革を進めていきます。
また、市民の知る権利を保障するため、本館・分館・分室と自動車図書館により、市内全域で資料・情報を提供するとともに、市民の教養・文化・生涯学習の拠点として市民相互の交流を図り、地域社会の文化のかけ橋となります。

基本方針

上位計画である第 5 次佐賀市教育振興基本計画には、「いつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の推進」という施策の基本事業のひとつに「図書館利用の推進」が挙げられています。この施策のなかで、地域の情報拠点、生涯学習の拠点、市民の交流の場としての機能をさらに充実させ、市民の教養、文化の向上を図るため、利用者ニーズにあった多様な資料収集・整理・保存に努めると記載されています。
また、図書館本館大規模改修事業において、改修後 30 年先も市民に愛される、誰もが自由にのびのびと、気持ち良い時間を過ごせる空間と、本を好きにさせてくれる様々な体験にあふれた新たな図書館を目指すことについても言及されています。

4つの基本目標（佐賀市立図書館が目指す姿）

個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

- ① **市内全域で図書館の資料が利用できるようにします。**
本館及び 7 分館 6 分室と、**電子図書館**や自動車図書館により、市内全域で図書館の資料が利用できるよう、貸出・返却サービスを提供します。また、学校や読書活動を行う団体への団体貸出サービスを行います。
- ② **暮らし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。**
市民のニーズに応じた資料の整備とレファレンス（調べもの相談）サービスの提供により、市民の課題解決に貢献します。
- ③ **市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。**
様々なメディアを利用し図書館の魅力や活用方法を市民に伝えます。また、図書館利用のきっかけになるようなイベントの企画や広報を行います。
- ④ **市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。**
市民が生涯学習に取組むきっかけとなるよう、季節や時事にあわせた資料やパンフレットの展示、市民向けの講座の開催などを行います。

子どもの成長に役立つ図書館

- ① **子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。**
子どもと保護者が安心して気軽に読書に親しめるよう、図書館の環境や蔵書を整備します。また、ボランティアとの協働によるおはなし会の開催など、子どもと保護者が一緒に本に親しむための取組を行います。
- ② **子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。**
子どもが図書館や本に興味を持つきっかけとなるイベントや、情報リテラシーを身につけるための講座を開催します。また、郷土に関する調べ学習を支援する取組を行います。
- ③ **子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。**
学校や保育所、読み語り活動を行うグループの支援のため、団体貸出などのサービスを提供します。また、読み語りボランティアの技術向上のための講座の開催や、新たにボランティア活動を希望される市民に団体を紹介します。

多様な人々が集う図書館

- ① **市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。**
誰にでもわかりやすい案内表示を行うとともに、市民が多様な活動を行うための施設の貸出を行います。また、誰もが安心して使用できる居心地のよい空間を提供するため、**毎日の清掃や、定期的な施設の点検・修理、施設の警備**を行います。
- ② **日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。**
日本語を母国語としない市民のための多言語表示や絵本を中心とした外国語資料の提供、障がいや視力の低下により図書館の利用や読書が困難な市民を対象とした資料の収集やサービスの提供を行います。また、佐賀県立**視覚障害者情報・交流センター“あい さが”**などと連携しながら、障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討します。

市民と共に変革を進める図書館

- ① **限られた経営資源の中で、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。**
年度事業計画を**策定**し、事業やサービスの進捗管理を行います。また、本館の改修工事を行い、**これまであまり図書館を利用していなかった人たちにも来館していただけるような新しい図書館を目指**します。そのほか、専門職である司書の確保や資質向上に努めるとともに、限られた人員や予算のなかで図書館を運営するため、業務効率化への取組を行います。
- ② **市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。**
市民団体やボランティアとの協働により、図書館サービスの向上を図るとともに、市民の生きがいづくりに貢献します。また、ボランティア養成講座の開催や、ボランティアの活動実態や満足度を把握する取組を行います。また、図書館協議会の開催により、有識者や市民の意見を図書館運営に活用していきます。

第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の主な修正点

- ① 「第3次佐賀市立図書館サービス計画」の延長について記載
 - ⇒ 1-1 図書館本館の大規模改修に伴う第3次佐賀市立図書館サービス計画の延長 (P1)
- ② 「第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）」の期間を記載
 - ⇒ 1-3 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の期間 (P2)
- ③ 「第3次佐賀市総合計画」、「第5次佐賀市教育振興基本計画」の策定による文言の修正
 - ⇒ 1-2 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の位置づけ (P1)
 - 1-4 上位計画における図書館の位置づけ (P2)
 - 3-2 基本方針 (P25)
- ④ 「佐賀市未来共創プラン（地方版総合戦略）」の策定による文言の修正
 - ⇒ 2-1 社会や図書館をとりまく環境の変化 (P4)
- ⑤ 図書館サービスに関する情報を更新
 - ⇒ 全体（主に 2-2 佐賀市立図書館の現況 ～ 4-4 市民と共に変革を進める図書館） (P6～)
 - 例：令和3年以降の実績値、データ推移グラフ、イベント情報の詳細
- ⑥ 実施する施策の評価にあたり、本館の改修工事に伴う休館により、成果指標の目標値の設定が困難となるため、目標値は設定せず、直近の実績を参考値とする方針を記載
 - ⇒ 3-2 基本方針 (P25)
- ⑦ 電子図書館サービスを施策の具体例として記載
 - ⇒ 4-1 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館 (P28)
- ⑧ その他、関連団体の名称変更や文体の統一など、本文中の文言の修正
 - ⇒ 全体
 - 例：旧「佐賀県立点字図書館」 新「佐賀県立視覚障害者情報・交流センター」 あい さ が “

第3次佐賀市立図書館 サービス計画（改訂版）案



令和8年3月

佐賀市立図書館

はじめに

佐賀市立図書館（本館）は、平成4年度に策定した「佐賀市図書館情報ネットワーク形成事業」の中で、基本理念として、「文化情報の収集・提供機関、市民の交流する場、文化活動の拠点、情報センター機能を有すること」を掲げ、平成8年8月に開館しました。

初代館長の千葉治館長のもとで、開館当初から「本のある広場」としての図書館づくりを市民の皆様と共に進めてまいりました。平成12年頃からは「場所としての図書館」の重要性が様々な観点から論じられるようになり、滞在型の利用に関する研究や実践が行われるようになりましたが、開館当初から市民の滞在型利用を前提とした運営や、文化活動のための場所の提供を行ってきた本館は、その先進事例のひとつであったと考えます。

図書館運営に際しては、本館オープン後の利用実態を参考として、平成11年度に「佐賀市立図書館整備基本計画」を策定しました。その後、平成17年と平成19年の市町村合併に伴い、諸富館、大和館、東与賀館が加わり、また富士館を新設したことから、平成21年3月に「佐賀市立図書館サービス計画」を策定し、新たな運営方針としました。（平成28年度～第2次計画、令和3年度～第3次計画）

第1次計画の期間中には、三瀬館、川副館を、第2次計画の期間中には旧町村で唯一図書館がなかった久保田町に分館を新設して、サービスの充実を図りました。

また、第2次計画では、「佐賀市子どもの読書活動推進計画」の策定や「調べる学習コンクール」の開催など、子どもが生涯にわたって読書に親しむための環境づくりを重点的に推進しました。

第3次計画では、市民の知る権利を保障するための基本的な図書館サービスや子どもの読書活動推進について引き続き重点的に取り組み、また新たな法律や計画、社会潮流の変化や佐賀市立図書館の現状を踏まえ、5年間で取り組むべき課題やサービスの基本的な方向性をまとめました。さらに、図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実と、郷土関連資料（行政資料・郷土資料・市民の学習成果等）の整理・公開を目的に、「佐賀市電子図書館」の運用を開始しました。

今回は本館のリニューアルを控えていることから、「第3次佐賀市立図書館サービス計画」を一部改訂し、これまでのサービス計画に加えて、リニューアルに向けた取り組みを推進してまいります。

本館は、令和8年で開館30周年を迎えます。この30年の間に社会環境は大きく変化し、少子高齢化の進展、デジタル技術の発達、そしてライフスタイルの変化などにより、図書館に求められる役割も大きく変わってきました。また、人々の価値観は多様化し、全国的に図書館の在り方が問われており、図書館を取り巻く状況は決して容易ではありません。

そこで、老朽化した施設の長寿命化を図るとともに、情報収集や生涯学習の拠点としての従来の図書館機能を発展させつつ、これまであまり図書館を利用していなかった人たちにも来館していただけるような、新たな魅力を備えた「誰もが、自由に、のびのびと過ごせる」公園のような居場所、「サガライブラリーパーク」へと生まれ変わらせる大規模改修工事を実施します。

工事期間中は休館によりご不便をおかけしますが、多くの方が立ち寄り、利用したくなる図書館、これから更に30年先も市民に愛される図書館となるよう皆様と共に取り組んでいきますので、ご理解ご協力の程よろしく申し上げます。

令和8年3月 佐賀市立図書館長

目次

1. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の概要.....	1
1-1. 図書館本館の大規模改修に伴う第3次佐賀市立図書館サービス計画の延長.....	1
1-2. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の位置づけ.....	1
1-3. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の期間.....	2
1-4. 上位計画における図書館の位置づけ.....	2
2. 現状と課題.....	4
2-1. 社会や図書館をとりまく環境の変化.....	4
2-2. 佐賀市立図書館の現況.....	6
3. 第3次サービス計画（改訂版）で掲げる基本理念・基本方針・基本目標.....	25
3-1. 基本理念『市民と共に育つ図書館』.....	25
3-2. 基本方針.....	25
3-3. 4つの基本目標.....	26
3-4. 年度事業計画.....	26
3-5. 施策体系.....	27
4. 4つの基本目標と施策.....	28
4-1. 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館.....	28
4-2. 子どもの成長に役立つ図書館.....	31
4-3. 多様な人々が集う図書館.....	34
4-4. 市民と共に変革を進める図書館.....	36



造成当時のどんだんどの森

1. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の概要

1-1. 図書館本館の大規模改修に伴う第3次佐賀市立図書館サービス計画の延長

佐賀市立図書館の中央館である本館は、令和8年に開館から30年を迎えます。この30年の間に社会環境は大きく変化し、図書館に求められる役割も大きく変わってきました。また、施設や設備の老朽化により大規模な修繕も必要になっています。

このような状況を踏まえて、令和6年度に大規模改修基本構想・基本計画を策定して、施設の長寿命化を図るとともに、新たな魅力を備えた施設として生まれ変わらせるための工事を行うこととしました。

本来であれば、令和8年度からは新たなサービス計画（第4次）を策定して、図書館運営に取り組むところですが、改修工事に伴う本館の休館期間と新たなサービス計画期間が重なることから、第4次佐賀市立図書館サービス計画は大規模改修後の本館開館にあわせて策定することとし、それまでは、現行の第3次サービス計画の一部改訂を行い、サービスを実施してまいります。

1-2. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の位置づけ

第3次佐賀市立図書館サービス計画は、第2次佐賀市総合計画¹と第4次佐賀市教育振興基本計画²を上位計画とし、令和3年度から令和7年度までの佐賀市立図書館のサービスの基本方針を示すものとして策定しました。

令和8年度以降は、新たに策定された第3次佐賀市総合計画³と第5次佐賀市教育振興基本計画⁴が第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の上位計画となります。

なお、図書館法⁵の第7条の3では「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない」と規定されており、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準⁶」においても、図書館は事業の実施等に関する基本的な運営方針の策定・公表に努めるものとされています。第3次佐賀市立図書館サービス計画では、これらを踏まえてサービスの基本方針を示すとともに、評価指標と目標値の設定を行っていま

¹ 第2次佐賀市総合計画……佐賀市の行政運営における最上位計画（平成27年度～令和6年度）。

² 第4次佐賀市教育振興基本計画……佐賀市の教育行政の基本的な方向性を示す計画（令和2年度～令和6年度）。

³ 第3次佐賀市総合計画……佐賀市の行政運営における最上位計画（令和7年度～令和22年度）。

⁴ 第5次佐賀市教育振興基本計画……佐賀市の教育行政の基本的な方向性を示す計画（令和7年度～令和14年度）。

⁵ 図書館法……社会教育を目的として地方公共団体または公益法人等が設置する図書館（いわゆる「公共図書館」）について規定した法律。この法律の中で、地方公共団体の設置する図書館は「公立図書館」と定義されている。

⁶ 図書館の設置及び運営上の望ましい基準……図書館法第7条の2に基づき平成24年に文部科学省が告示した基準。

す。また、その結果を毎年分析し、運営の改善に活用します。

1-3. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の期間

第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の期間は令和8年度から大規模改修後の本館開館までとします。



本館の外観

1-4. 上位計画における図書館の位置づけ

第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の上位計画は、第3次佐賀市総合計画と第5次佐賀市教育振興基本計画です。

第3次佐賀市総合計画において、図書館サービス計画は「いつでもどこでも学ぶことができる生涯学習⁷の推進」という施策に関連する個別計画として位置づけられています。そのため、図書館や公民館などの社会教育施設には、市民ニーズに応じた多様な学習機会の提供や学習環境の整備により、生涯学習を推進していくことが求められています。

第5次佐賀市教育振興基本計画では、「いつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の推進」という施策の基本事業のひとつとして「図書館利用の推進」が挙げられています。この施策の中で、地域の情報拠点、生涯学習の拠点、市民の交流の場としての機能をさらに充実させ、市民の教養、文化の向上を図るため、利用者ニーズにあった多様な資料収集・整理・保存に努めると記載されています。また、図書館本館大規模改修事業において、改修後30年先も市民に愛される、誰もが自由にのびのびと、気持ち良い時間を過ごせる空間と、本を好きにさせてくれる様々な体験にあふれた新たな図書館を目指すことについても言及されています。

なお、公立図書館は社会教育法や図書館法の中で社会教育機関という位置づけであり、上位計画でも

⁷ 生涯学習……人々が自己の充実・啓発や生活の向上のために生涯を通じて行う学習のこと。

1. 第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の概要

社会教育や生涯学習に関する施策と関連づけられていますが、「佐賀市子どもの読書活動推進計画⁸」に基づき、子育てや学校教育への支援も積極的に行います。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
市 (総合計画)	第2次佐賀市総合計画 後期計画				第3次佐賀市総合計画 前期計画				
	第4次佐賀市教育振興基本計画 実施計画(前期)				第5次佐賀市教育振興基本計画 実施計画(後期)				
市教委 計画	第4次佐賀市教育振興基本計画 実施計画(前期)				第5次佐賀市教育振興基本計画 実施計画(後期)				
図書館 サービス計画	第3次佐賀市立図書館サービス計画				第3次佐賀市立図書館サービス計画(改訂版)				
関連計画	佐賀市子どもの読書活動推進計画				佐賀市子どもの読書活動推進計画(修正版)				

⁸ 佐賀市子どもの読書活動推進計画……子どもが生涯にわたって読書に親しむための環境づくりを目的に佐賀市が策定した計画（令和元年度～令和5年度）。同計画修正版（令和6年度～令和10年度）。

2. 現状と課題

2-1. 社会や図書館をとりまく環境の変化

○人生 100 年時代の到来

団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となり、佐賀市はすでに、超高齢社会を迎えています。このような中で持続可能な社会を実現するためには、すべての年代の人々が相互に力を発揮し、支え合うことができる社会づくりが求められており、「佐賀市未来共創プラン（地方版総合戦略）⁹」では、市民一人ひとりが生涯を通じて学び育ち合う機会を提供し、生きがいづくりや自己啓発を図るとともに、各々の学びを地域のまちづくりや課題の解消に生かし、地域もともに育つ仕組みづくりを図ることについて言及されています。

佐賀市立図書館は、すべての年代の人々が利用しやすい図書館サービスの提供、ボランティア活動や市民活動を行う場の提供、市民の生涯学習のための資料の提供などで市民に貢献することができます。

○安全・安心への意識の高まり

全国各地で発生する地震、毎年のように発生する台風、豪雨などにより、大規模な災害が相次いで発生しており、防災や減災に関する意識が高まっています。

佐賀市立図書館は、市の関連部署と連携して防災や減災に関する展示や資料の提供を行うことで、家庭や地域の安心・安全に貢献できます。また、災害発生時における図書館運営を検討していく必要があります。



冠水した道路と本館地下駐車場入口
(令和元年 8 月 2 8 日)



防災に関する資料の展示

⁹ 佐賀市未来共創プラン（地方版総合戦略）……本市の最上位計画である「第 3 次佐賀市総合計画」で目指す 2040 年の将来像を実現するために、本市の人口の現状と将来の見通しを踏まえ、短・中期的に取り組むべき 4 年間の方向性や重点事業を取りまとめる実施計画（令和 7 年度～令和 10 年度）。

○生活様式や価値観の多様化と共生社会

社会が成熟するにつれ、人々の価値観や趣味・嗜好、ライフスタイルが多様化してきました。多様化に伴う意識の変化は、まちづくりに参加したいという「協働」への意欲にもつながっています。一方で、地域コミュニティの機能低下、移住者や在住外国人の増加が見込まれており、地域社会が多様性を受け容れる風土を醸成することが求められています。

佐賀市立図書館は、様々な考え方や生き方に対応した多様な資料や、外国語の絵本を中心とした外国語資料を提供することができます。また、ボランティアや市民団体と協働することで、学習成果を発揮する場や生きがいづくりの場を提供することもできます。多様な資料や場の提供は、SDGs¹⁰の目標のひとつである「すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことに繋がります。

令和元年6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」（読書バリアフリー法）¹¹が施行され、佐賀県立視覚障害者情報・交流センター“あい さが”¹²などの関連団体・関連部署と連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討する必要があります。

○厳しい財政状況の中での自治体経営

人口減少、少子・高齢化の進行により、年金、医療、介護などの社会保障費は大幅な増加傾向にあります。また、高度経済成長期を中心に整備してきた公共施設・インフラの老朽化が進んでおり、その補修や維持・管理などにかかる費用も増加が見込まれます。

佐賀市立図書館は、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ等）の**中**で、市内全域に図書館サービスを提供するための効率的な運営を行う必要があります。

また、長期的な視点による公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行い、将来的な市の財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置の実現を目的として、平成29年度に策定された佐賀市公共施設等総合管理計画などをもとに、計画的な**運営**を行っていく必要があります。

¹⁰ SDGs(Sustainable Development Goals)……2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載のある2016年から2030年までの国際目標。17の目標と169のターゲットで構成される。

¹¹ 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）……視覚障害、発達障害、肢体不自由などの障害によって読書が困難な人々の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進し、障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現に寄与することを目的に制定された法律（令和元年6月28日公布、施行）。

¹² 視覚障害者情報・交流センター“あい さが”……視覚障害者のために、点訳図書及び音訳による録音図書を作成・収集・整理・保存し、貸出し及び閲覧業務を主とする施設。旧・佐賀県立点字図書館。法的には、身体障害者福祉法に基づく視覚障害者情報提供施設として位置づけられている。

2-2. 佐賀市立図書館の現況

○図書館費の推移

施設の老朽化による修繕費の増加、最低賃金の大幅な上昇に伴う人件費や施設管理費の増加、図書館本館の大規模改修事業関連費用等により図書館費は上昇傾向にあります。



○分館・分室・自動車図書館の運営による全域サービス

平成の大合併により広域化した市内全域へのサービス提供を実現するため、本館のほかに7分館、6分室を設置しています。また、分館や分室からも遠い地域をカバーするため、自動車図書館ブーカス号が14カ所（令和7年度時点）のサービスポイント¹³を巡回しており、同規模の自治体と比較してもサービス提供箇所は多くなっています。なお、分館及び分室の整備方針及び設置基準、設置規模は、以下のとおりです。（平成21年3月制定）

【整備方針】

- ・図書館の整備については、周辺の人口、地域性を考慮し、設置地域、規模等を決定する。ただし、市の財政状況及び利用の効率性から単独館での図書館整備は行わない。
- ・効率性及び経済性を考慮し、下記の設置基準に満たない地域については自動車図書館で対応する。ただし、合併後の南部地域については、合併新市基本計画を基本に地域の実情に応じて対応する。

【設置基準】

既存の図書館施設から2km以上離れていることを前提として。

- ・分館は半径2km以内に概ね1万人以上が居住する。
- ・分室は半径1km以内に概ね5千人以上が居住する。

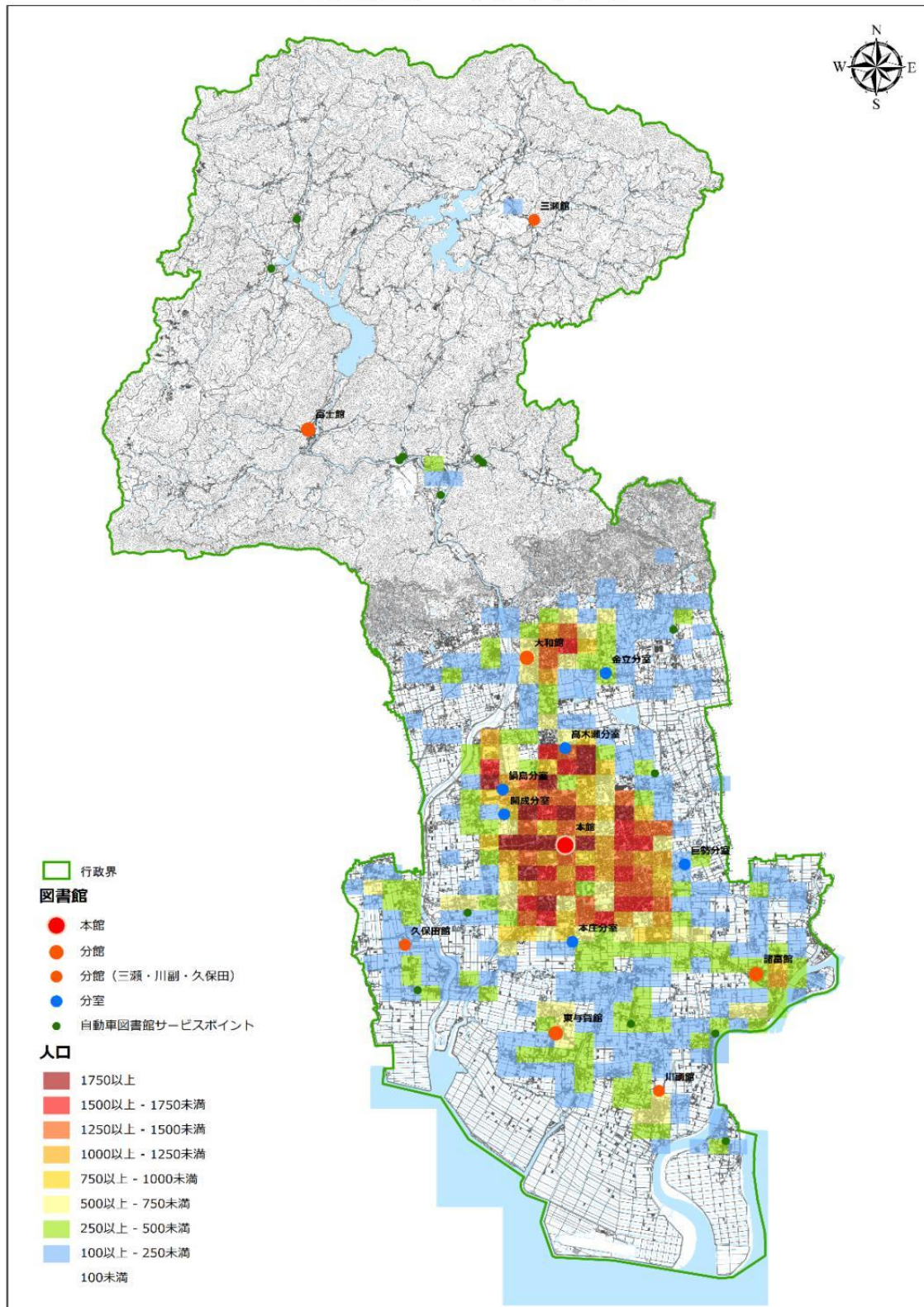
【設置規模】

区分	延床面積	資料数	職員数
分館	300㎡以上	15,000点以上	4人以上
分室	70㎡以上	10,000点以上	2人以上

※三瀬館・川副館・久保田館は、名称は「分館」だが、分館の設置基準を満たさないため分室規模で整備した。

¹³ サービスポイント……図書館サービスを提供する拠点のこと。ここでは、自動車図書館を駐車し、サービスを行う場所をいう。

図書館サービスマップ



○開館時間・休館日

令和7年度に行った利用者アンケートでは、「開館時間、開館日数」について「満足・やや満足」と回答した人は90%、「やや不満足・不満足」と回答した人は10%です。また、令和5年度に行った市民アンケートにおいて、佐賀市立図書館を利用したことがない理由について「開館日・開館時間が合わない」と回答した人は2%でした。

開館時間及び休館日		
開館時間	本館・諸富館・大和館・東与賀館	火～土曜日 10:00～19:00 日曜・祝日 10:00～17:00
	富士館	火～土曜日 10:00～18:00 日曜・祝日 10:00～17:00
	三瀬館・川副館・久保田館 分室（開成・金立・鍋島・高木瀬・本庄・巨勢）	火曜日 12:00～17:00 水曜日～土曜日 10:00～17:00
休館日	休館日	毎週月曜日（祝日のときは翌日）、年末年始 ※三瀬館・川副館・久保田館・分室は日曜・祝日も休館
	館内整理日	12月を除く毎月最終木曜日 （祝日の場合は翌平日）
	特別整理期間	年7日以内



本館館内



富士館館内

○組織及び職員体制

公立図書館の職員については図書館法第13条に規定があり、専門的事務に従事する職員の名称を「司書」としています。図書館資料の選書や管理、カウンター業務やレファレンス（調べもの相談）など専門性のある業務を行うため、司書資格を保有する人員の確保に努めています。

令和7年度 係別担当業務

係名	担当業務
総務企画係	広報、イベントの企画及び運営、本館施設の貸出、自動車図書館の運営、団体貸出及び学校図書館との連携、電子図書館システムの運用管理、人事給与、職員研修、施設の管理及び修繕、予算管理、電算業務、図書館協議会 ¹⁴ の運営、調査統計、図書館実習や見学の対応、文書事務、その他庶務事務に関すること
サービス一係	中央カウンター（貸出返却等）業務、分室の運営、ハンディキャップサービス、蔵書管理、搬送業務、電算業務、図書リサイクル、利用者案内業務
サービス二係	図書館資料の収集・発注・整理、レファレンスサービス、相互貸借、児童サービス、子どもの読書活動推進事業
各分館	各館の運営に関すること

係別職員配置数（単位：人／令和7年7月1日現在）

係	職員	再任用職員	会計年度任用職員			計	うち 司書資格 保有	備 考
			月 31 時間 勤務	月 30 時間 勤務	その他			
館長	1	-	-	-	-	1	0	
総務企画係	5	1	3	1	1	11	5	
サービス一係	5	-	21	7	18	51	34	分室職員を含む
サービス二係	3	1	9	-	-	13	12	
大和館	-	1	7	-	-	8	7	
諸富館	-	1	4	-	-	5	4	
東与賀館	-	1	4	-	-	5	4	
富士館	1	-	3	-	-	4	3	
三瀬館	-※	-※	2	-	1	3	2	※分館長は富士分館長兼務
川副館	-	-※	2	1	-	3	3	※分館長は諸富分館長兼務
久保田館	-	-※	2	1	-	3	3	※分館長は東与賀分館長兼務
合 計	15	5	57	10	20	107	77	

¹⁴ 図書館協議会……図書館法第 14 条及び佐賀市立図書館条例第 9 条に基づき設置する。公立図書館の運営に関する館長の諮問機関。

○貸出サービス

佐賀市立図書館では、佐賀市在住者に加えて、佐賀市内に通勤・通学している人や、佐賀中部広域連合市町在住者にも貸出サービスを提供しています。図書資料（本・雑誌・紙芝居）のほか、ビデオ・DVD・CD・カセットなどの視聴覚資料、絵画の貸出も行っています。また、読書活動グループや学校などを対象に団体貸出サービスを行っています。

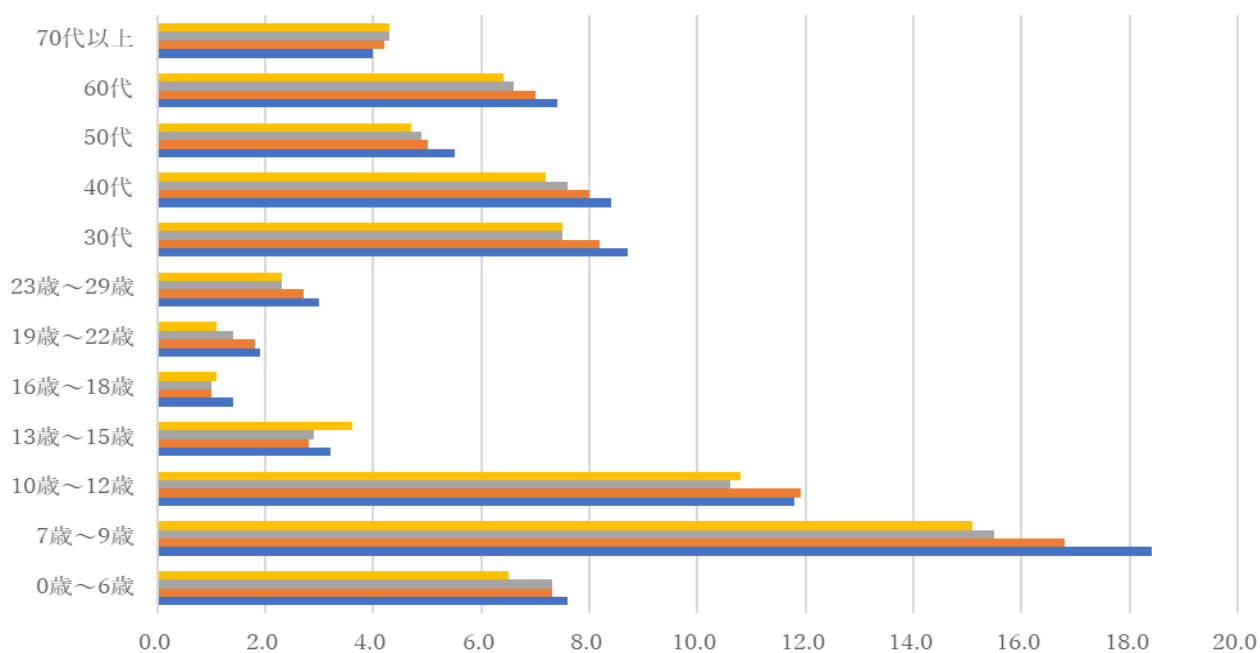
貸出サービス			
貸出の対象	① 佐賀中部広域連合市町に在住する者 ② 佐賀市内に通勤、通学する者 ③ その他館長が認める者		
個人貸出	資料	数量	期間
	図書資料	15点以内	2週間以内
	ビデオ・DVD	合わせて2点以内	2週間以内
	CD・カセットテープ	合わせて3点以内	2週間以内
団体貸出	絵画	1点	1カ月間以内
	図書資料	1,000冊以内	3カ月間以内
	その他の資料	個人貸出の例による	
<p>○「図書資料」とは、本・雑誌・紙芝居のことで、雑誌についてはバックナンバーを貸出対象としている。</p> <p>○貴重本等については、館外貸出規制を設けているものもある。</p> <p>○佐賀中部広域連合市町 4市1町（佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町）</p>			

貸出点数は全国的な傾向と同様に年々減少傾向にあります。世代別の人口ひとりあたりの貸出点数について、70歳以上の世代は年々増加していますが全体的には減少傾向です。未就学児から小学生までの利用は比較的多いですが、部活動や勉強が忙しくなり行動範囲も広がる中学生頃から利用が減り始めます。子どもが小さい頃は保護者と一緒に利用することが多いため、子育て世代の利用は増えますが、子どもが成長すると利用しなくなる人が増える傾向にあります。

貸出点数推移（単位：点）



【年齢別】人口ひとりあたりの貸出点数（単位：点）



	0歳～6歳	7歳～9歳	10歳～12歳	13歳～15歳	16歳～18歳	19歳～22歳	23歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上
■ R6	6.5	15.1	10.8	3.6	1.1	1.1	2.3	7.5	7.2	4.7	6.4	4.3
■ R5	7.3	15.5	10.6	2.9	1.0	1.4	2.3	7.5	7.6	4.9	6.6	4.3
■ R4	7.3	16.8	11.9	2.8	1.0	1.8	2.7	8.2	8.0	5.0	7.0	4.2
■ R3	7.6	18.4	11.8	3.2	1.4	1.9	3.0	8.7	8.4	5.5	7.4	4.0

■ R6 ■ R5 ■ R4 ■ R3

○予約・リクエストサービス

借りたい資料が書架にないときに、資料の予約（順番待ち/他館からの取り寄せ）や、資料購入のリクエストをすることができます。予約は佐賀市立図書館のホームページから行うことができます。

予約件数は年々増加傾向にあり、予約件数を本館の開館日数で割ると一日あたり約700件の予約を受付しています。

予約件数推移（単位：件）



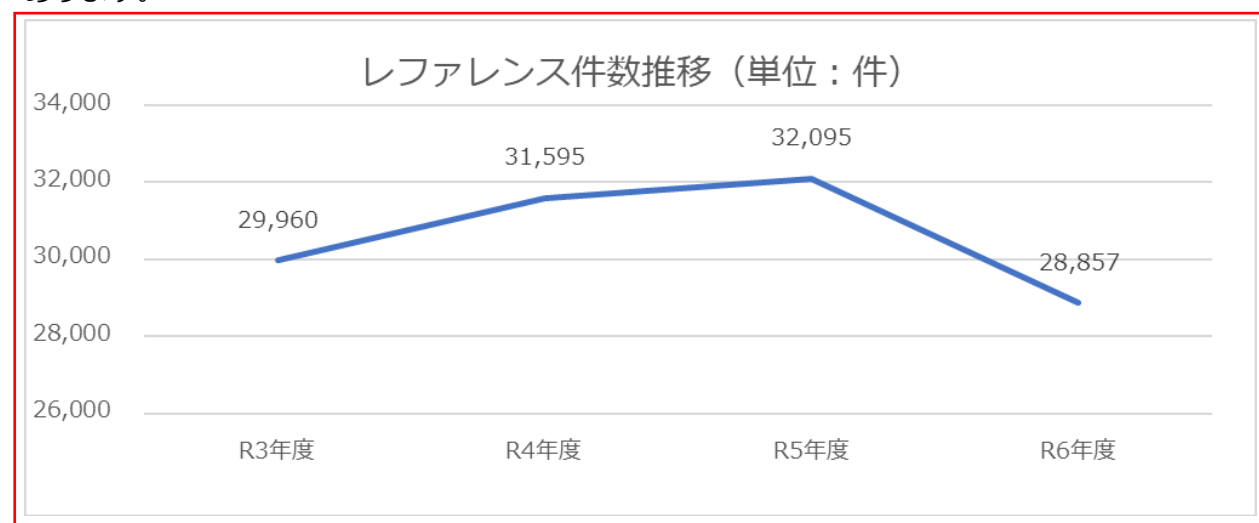
○相互貸借サービス

佐賀市立図書館に所蔵がない本について、他の図書館と貸し借りする「相互貸借」によって所蔵する図書館から借りることができます。また、佐賀市立図書館も他の図書館に相互貸借によって本の貸出を行っています。



○レファレンスサービス

資料を使って司書が調べものを支援する「レファレンスサービス」は資料の貸出と同じく図書館の基本的なサービスのひとつであり、貸出サービスとレファレンスサービスは車の両輪に例えられることもあります。



※所蔵調査などの簡易なレファレンスも含む。

○資料の複写（コピーサービス）

佐賀市立図書館所蔵の資料は、著作権法第31条第1項第1号の範囲内で複写することができます。
（三瀬館・川副館・久保田館・分室での資料の複写（コピー）は取り扱っていません）

著作権法 第31条第1項第1号

国立国会図書館及び図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの（以下この項及び第三項において「図書館等」という。）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料（以下この条において「図書館資料」という。）を用いて著作物を複製することができる。

一 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあつては、その全部。第三項において同じ。）の複製物を一人につき一部提供する場合

○施設の貸出

市内で活動する団体向けに、本館の館内施設の一部を貸し出しており、講演会やコンサート、会議などに使用いただけます。

また、本館と大和館には、持ち込み資料による自主学習が可能なスペースを設置しています。

各施設の貸出件数（単位：件） ※（）内は日数					
年度	多目的ホール	大集会室	和室	中央ギャラリー ロビーギャラリー	その他
R3年度	66 (96)	82 (94)	32 (50)	37 (323)	0
R4年度	66 (95)	82 (94)	45 (62)	35 (301)	0
R5年度	83 (114)	98 (125)	60 (67)	42 (317)	2 (8)
R6年度	65 (95)	103 (115)	36 (42)	36 (299)	8 (14)



多目的ホール



ロビーギャラリー

○ハンディキャップサービス

さまざまな障がいがある人が原因で来館や活字資料の利用が難しいなど、図書館利用に支障がある人に向けて、来館が困難な場合には資料の宅配や郵送を行い、活字を読むことが困難な場合には大活字本¹⁵や録音図書¹⁶、マルチメディアデージー図書¹⁷、拡大読書器¹⁸の提供や、ボランティアによる対面朗読サービス¹⁹を行っています。

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
資料の宅配・郵送件数	76件	79件	66件	60件
大活字本所蔵数	1,472点	1,521点	1,584点	1,704点
大活字本貸出点数	3,056点	3,014点	3,033点	3,057点
ボランティア登録者数	31人	32人	40人	47人
対面朗読件数	0件	14件	57件	68件

○多文化サービス

佐賀市には、2,766人の外国人登録者（令和6年9月時点）があり、これは佐賀市人口(226,719人：令和6年9月時点)の1.22%にあたります。平成27年時点の登録者の人数は1,309人であり、この10年間で外国人登録者の数は2倍に増えています。そのほか、通勤・通学などで、佐賀市に関わる外国籍の方もいます。

佐賀市立図書館では英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タガログ語の利用案内を作成するとともに、英語を中心に、中国語や韓国語等の言語で書かれた図書（絵本を含む）や雑誌、新聞などを収集し提供しています。また、案内表示の多言語化や、「やさしい日本語」による表記も行っていきます。

○広報・イベント

広報については、図書館報「佐賀市立図書館だより」や、市内全戸に配布される市報に「図書館だより」を毎月掲載し、イベントの案内などを行っています。また、ホームページやSNS²⁰でも随時お知

¹⁵ 大活字本……大きな活字で印刷された本。

¹⁶ 録音図書……文字で書かれた図書を耳で聴けるよう朗読し、その音声をCDやカセットテープなどに録音したもの。

¹⁷ マルチメディアデージー図書……音声に合わせて文字と画像を同時に見ることのできる電子書籍のこと。読み書きに障がいのある人に有効といわれている。デージー(DAISY)はDigital Accessible Information Systemの略語。

¹⁸ 拡大読書器……読みたいものを拡大して表示する器具。

¹⁹ 対面朗読サービス……目の不自由な方等のために朗読者が「目の代わり」となって指定された資料を読むサービス。

²⁰ SNS (Social Networking Service) ……人と人とのコミュニケーションの促進し、インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービス。

らせを掲載、発信しており、ホームページ利用者の約80%がウェブサービス（ホームページ）に満足しています。

イベントについては、新たな利用者層を開拓するためにコンサートや寄席などを毎年実施しています。

令和5年度の市民アンケートでは、市民が図書館を利用したことがない理由として最も多かった回答は「本はあまり読まない（46.0%）」でした。そのため、佐賀市立図書館の利用増加のためには「本を好きになるきっかけづくり」が重要です。

市報掲載回数・図書館報発行回数

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
市報掲載回数 「図書館だより」	12回	12回	12回	12回
図書館報発行回数 「佐賀市立図書館だより」	4回	4回	4回	4回

ホームページ利用状況及び満足度

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
ホームページ セッション数 ²¹	301,853	157,675	156,529	327,407
ウェブサービス（ホームページ）への満足度	満足・やや満足：84.9% 不満・やや不満：15.1%	満足・やや満足：76.9% 不満・やや不満：23.1%	満足・やや満足：83.8% 不満・やや不満：16.2%	満足・やや満足：88.0% 不満・やや不満：12.0%

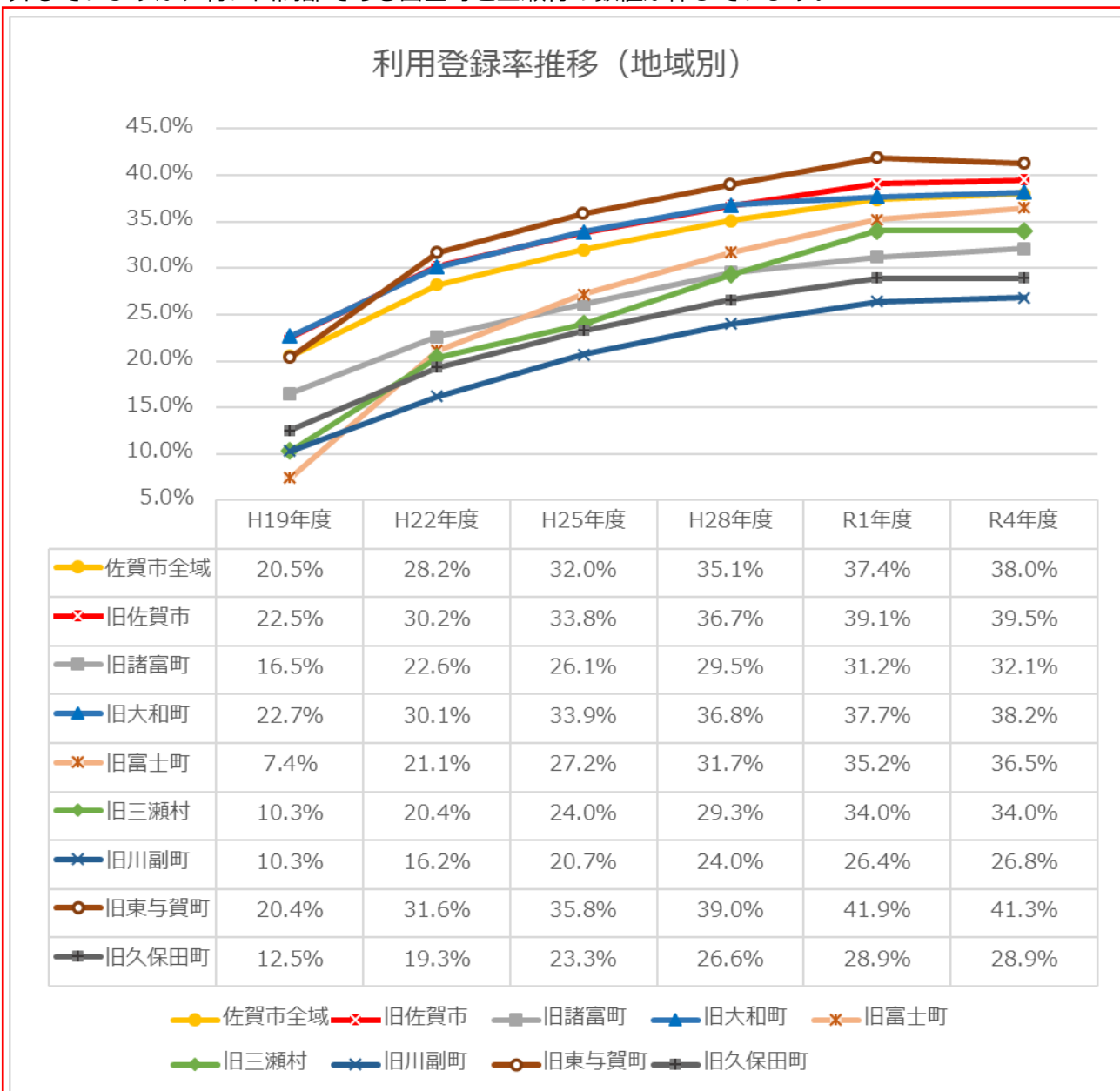
各イベント参加人数

図書館秋のコンサート		図書館音楽フェス	図書館寄席		佐賀大学地域連携型公開講座（第1～第3回計）	
R5年度	R6年度	R6年度	R5年度	R6年度	R5年度	R6年度
50人	41人	44人	43人	35人	163人	165人

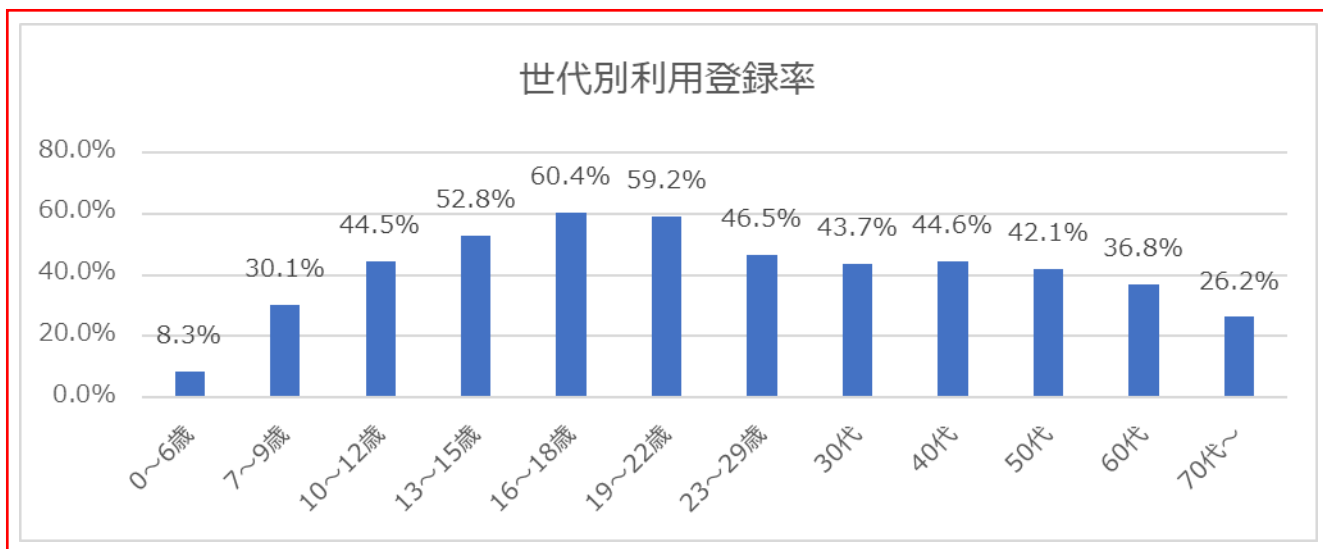
²¹ セッション数……ホームページへの訪問回数。同じ端末から複数回アクセスがあった場合でも、毎回カウントする。

○利用登録者数

市町村合併前の平成19年度末時点では佐賀市民の利用登録率（個人登録数/住基人口）は20.5%でしたが、令和4年度末には38.0%（+17.5%）まで上昇しました。どの地域の利用登録率も順調に上昇していますが、特に山間部である富士町と三瀬村の数値が伸びています。



世代別の利用登録率をみると未就学児（0～6歳）の登録率が低いですが、これは保護者の利用カードと一緒に資料を借りることが多いためと考えます。小学生になると自分の利用カードを作る人が増えるため、利用登録率が増加しています。23歳以降の利用登録率がそれまでの世代と比べて低下している要因としては、**既登録者の就職などによる市外への転出、及び市内への転入者の利用登録が少ないこと**などが考えられます。



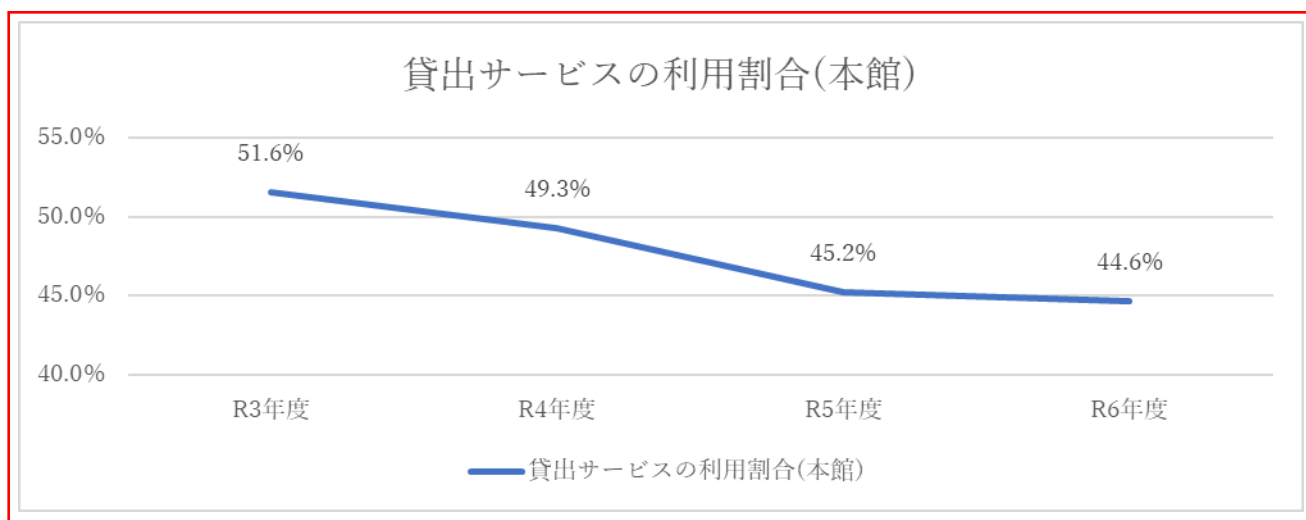
○本館来館者数・貸出サービス利用割合

本館の来館者数は年々減少傾向にありますが、令和4年度及び令和5年度は、それまで新型コロナウイルス感染症拡大防止のために利用を控えていた利用者が来館するようになったことにより、一時的な増加が見られます。



本館来館者の貸出サービス利用割合をみると、半数以上の人々が貸出サービスを利用していないことがわかります。これは、家族連れでの利用の場合にひとりの利用カードで貸出を済ませてしまうことや、滞在型の利用が増えていることが要因だと考えられます。滞在型利用の形態としては、館内での資料の利用、イベント参加、持ち込み資料を利用した自主学習などが考えられます。

新型コロナウイルス感染症への対策として、貸館の一時的な中止、学習室の閉鎖等を実施していたことで滞在型の利用が抑制されていた影響により、相対的に増加していた貸出サービス利用割合は、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが「5類感染症」に移行し、貸館及び学習室の利用等が再開したことにより、滞在型の利用が増加したことで減少傾向にあります。



○資料整備

建物の収蔵能力にあわせて計画的に除籍しているため、所蔵数は減少傾向にあります。また、佐賀市立図書館の資料費は毎年 5,000 万円前後の確保に努めており、毎年計画的に資料を購入しています。

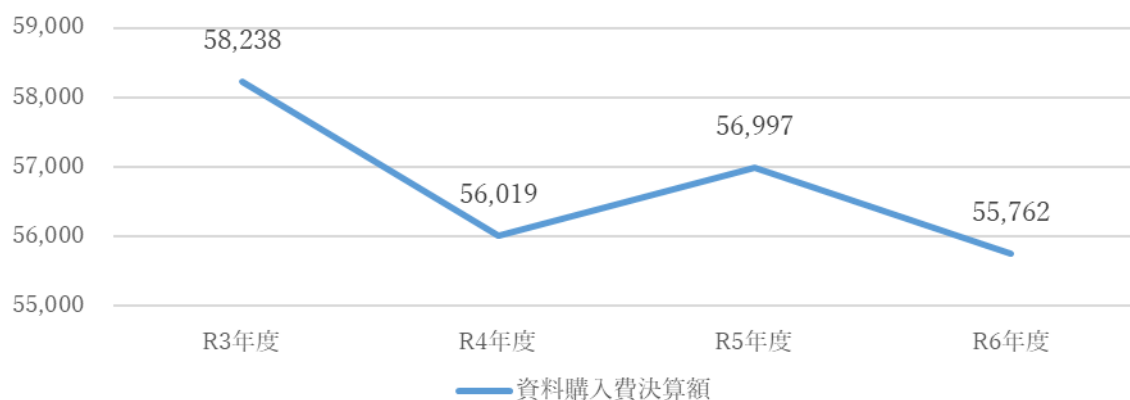
各年度の資料の購入及び寄贈受入状況（単位：点）

	R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度	
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈
一般書	16,954	828	15,464	688	15,111	597	13,932	638
児童書	9,106	345	8,444	500	7,790	483	7,328	491
視聴覚	385	36	377	24	340	17	322	42
雑誌	6,351	737	6,101	709	5,860	660	5,521	577
地域書籍	25	692	44	634	58	467	78	550
外国語	38	1	25	5	54	37	19	4
絵画	0	0	0	0	0	0	0	0
マンガ	20	134	14	77	9	105	35	308
その他	0	5	0	4	0	2	0	0
計	32,879	2,778	30,469	2,641	29,222	2,368	27,235	2,610

各年度末時点の所蔵数（単位：点）

	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度
一般書	458,176	453,338	451,423	447,578
児童書	230,509	230,853	231,369	231,946
視聴覚	21,941	18,284	17,119	16,418
雑誌	34,449	34,503	33,805	33,147
地域書籍	25,198	25,530	26,033	26,739
外国語	5,853	5,806	5,838	5,830
絵画	427	424	424	423
マンガ	18,011	17,180	16,643	16,255
その他	348	318	318	316
計	794,912	786,236	782,972	778,652

資料購入費決算額推移（単位：千円）

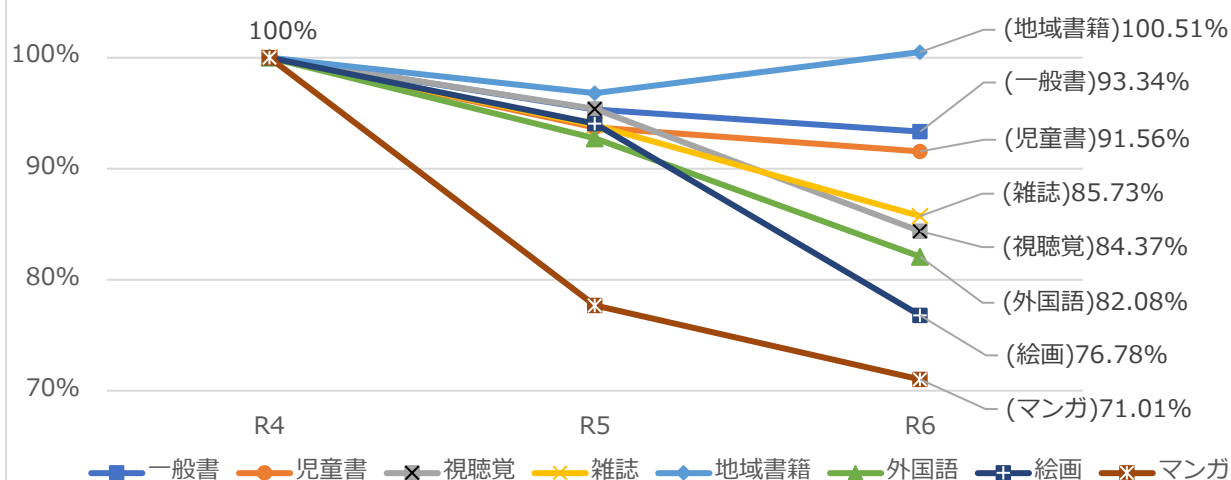


貸出状況を資料種別毎にみると、特にマンガ資料や視聴覚資料²²の貸出が減少しています。

マンガ資料の利用減少については、図書館で新規購入を控えていることに加えて、令和6年時点で電子書籍市場の87.7%をマンガ資料が占めており、個人で簡単にマンガの電子書籍を利用できるようになったことが要因であると推測されます。

視聴覚資料については、高額であるため購入できる点数には限りがあることや、著作権の関係で購入できる資料の種類も限定されることから、利用者アンケートでも他の図書館サービスに比べて「不満・やや不満」との回答が多くなっています（「CD、DVD、ビデオの充実」について、「不満」「やや不満」と回答した人の割合：【令和6年度：25%】）。また、民間で多くの動画配信サービスが提供され、簡易に音楽や動画のコンテンツが利用できるようになったことも利用減少の一因だと推測されます。

資料種別毎の貸出点数の増減(R4年度との比較)



²² 視聴覚資料……CDやDVDなど、映像や音声によって情報を記録した資料のこと。

○子どもを対象としたサービスと利用状況

本館では乳幼児が本に親しめる機会を充実させるため、佐賀市立図書館が作成した「えほんであそぼっ！あかちゃんの絵本ガイドブック」の配布や、乳幼児が自分で本を手にとれるあかちゃん絵本コーナーを設置しています。また、毎週木曜日、土曜日にはおはなし会を開催しています。子育て世代でも利用しやすい環境をつくるため、授乳スペース、おむつ替えができるベビーベッドを設置しています。

子どもへの貸出点数は減少していますが、学校図書館の充実により身近な学校図書館の貸出点数は非常に増えており、佐賀市立図書館も学校に団体貸出を行うことで学校図書館の支援を行っています。また、ボランティアによる佐賀市立図書館でのおはなし会や学校での読み語り²³は、活発に行われており、ボランティアの活動を支援するため、読み語り講座を開催しています。

また、夏休みを中心に、大規模なおはなし会や自由研究支援の講座「夏休み自由研究 君を助け隊」、「図書館を使った調べる学習コンクール」や「手づくり絵本教室」などのイベントを開催しています。

佐賀市立小中学校への団体貸出点数

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
11,571点	10,904点	9,617点	10,132点

【参考】学校図書館の利用状況（学校図書館基本調査より）

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小学校	児童数	12,460人	12,365人	12,197人	12,017人
	蔵書数	361,874冊	362,391冊	360,747冊	364,086冊
	貸出点数	1,865,337冊	1,759,319冊	1,709,771冊	1,695,708冊
	ひとりあたりの貸出点数	149.7冊	142.3冊	140.2冊	141.1冊
中学校	生徒数	5,428人	5,471人	5,554人	5,555人
	蔵書数	215,431冊	216,366冊	218,241冊	219,952冊
	貸出点数	120,006冊	104,184冊	100,011冊	99,595冊
	ひとりあたりの貸出点数	22.1冊	19.0冊	18.0冊	17.9冊

²³ 読み語り……本を見せながら読んで聞かせること。「読み聞かせ」ともいう。

○市民との協働

「図書館を友とする会・さが²⁴」主催、佐賀市立図書館共催で毎年イベントを実施しています。本館のいけ花や花壇の手入れも、同会を中心としたボランティアが行っており、利用者から好評です。

また、本館や各分館において、読み語りグループと協働で定期的におはなし会を開催しています。そのほか、本館ハンディキャップサービスコーナーでは、ボランティアによる対面朗読サービスを毎週土曜日、日曜日に行っています。ボランティア養成のための取組として、読み語り講座と対面朗読ボランティア養成講座を毎年開催しています。

「図書館を友とする会・さが」及び関連団体との共催イベント

年度	イベント名	概要
R3	アルモニア管弦楽団 春のコンサート	弦楽四重奏の演奏（17名参加）
R4	アルモニア管弦楽団 春のコンサート	弦楽四重奏の演奏（42名参加）
R4	いのちと夢のコンサート	合唱作曲家の弓削田健介氏によるトークとライブ（49名参加）
R5	絵本・紙芝居作家 長野ヒデ子氏 読み語り講演&トークイベント	長野ヒデ子氏の講演会と、読み語りの先生、地元書店を運営するNPO 法人代表、子育て世代の図書館利用者を交えたトークイベント（71名参加）
R5	音楽と絵本のおはなし会	音楽と絵本の読み語りグループ SORA による音楽と絵本の読み語り（69名参加）
R6	絵本作家ターシャ・テューダーの展示会	ターシャ・テューダー絵本の会による絵本の展示会
R6	図書館学講座 下川和彦氏講演会	日本図書館協会員の下川和彦氏による講演会（27名参加）

おはなし会関係のボランティア団体（順不同）

団体名	活動場所	主な活動内容
おはなし広場の会	本館	【定例おはなし会（おはなしひろば）】 第2～5土曜日 15:00～15:30
すばなしの会	本館	【定例おはなし会(小学生からのおはなし会)】 第1土曜日 14:15～14:45
	本館	【定例おはなし会（おはなしひろば）】 第1土曜日 15:00～15:30
おはなし会がらがらどん	本館	冬のあったかおはなし会などのイベント

²⁴ 図書館を友とする会・さが……平成8年9月から活動を行っている市民団体。住民の生活と文化の向上のため、佐賀市立図書館が本のある広場として市民に親しまれ、より発展することを目的に設立された。

2. 現状と課題

木ようおはなし会	本館	【定例おはなし会（おはなしポケット）】 第3木曜日 15:00～15:30
おはなし会やまと	大和館	【定例おはなし会（おはなし広場）】 第1・2・3土曜日 11:00～11:30
おはなし連絡会“morodomi”	諸富館	【定例おはなし会】 第2・4土曜日 11:00～11:30
おおきなかぶ	東与賀館	【定例おはなし会】 第2・4土曜日 14:30～
富士館・えほんのもりおはなし会	富士館	【定例おはなし会】 第4土曜日 14:30～15:00

その他のボランティア（順不同）

団体名	活動場所	主な活動内容
図書館を友とする会・さが	本館	<ul style="list-style-type: none"> ・館内に花を飾る／花壇・樹木の手入れ ・図書館学講座の開催 ・図書館と市民の交流会の開催 ・全国友の会全国連絡会との連携
対面朗読ボランティア	本館	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜・日曜に対面朗読室で対面朗読サービスを実施

○貸出密度²⁵上位の市町村との比較（参考）

人口が20～30万人の市町村立図書館（政令指定都市・特別区除く）のうち、貸出密度が上位10%の図書館の平均数値²⁶と佐賀市の数値を比較した表は以下のとおりです。佐賀市の数値は令和6年度実績もしくは令和7年4月1日現在の数値です。

	上位自治体平均	佐賀市	備考
人口	237,467人	225,700人	
図書館数（本館及び分館数）	6館	8館	
図書館占有延床面積	7,503.1㎡	13,592㎡	本館・分館・分室の合計
自動車図書館数	0.5台	1台	
専任職員数（うち司書資格保有者数）	35.8人(27.5人)	15人(5人)	
非常勤・臨時職員数（うち司書資格保有者数）	62.8人(39.2人)	84.4人(72.9人)	※1
委託・派遣職員数（うち司書資格保有者数）	0.5人(0.4人)	0人	
蔵書冊数（図書資料のみ）	1,032,076.8冊	728,348冊	※2
図書年間購入冊数	41,163冊	21,392冊	※2
雑誌年間購入種数	650.8種	551種	
新聞年間購入種数	63種	50種	
登録者数	110,657.5人	111,307人	
貸出点数	2,597,442点	1,370,344点	
人口ひとりあたりの貸出点数	10.8点	6.1点	
予約件数	626,557.8件	214,836件	
図書館費	325,282千円	352,063千円	専任職員人件費除く
資料費	90,596.3千円	61,109千円	
人口ひとりあたりの資料費	384.7円	270.1円	

※1 「非常勤職員・臨時職員」の人数については、年間実労働時間の合計1,500時間を1人として換算する。

また、再任用職員や会計年度任用職員は「非常勤職員・臨時職員」に含む。

※2 ここでの「図書資料」には、雑誌・新聞・視聴覚資料等は含まない。紙芝居は含む。

²⁵ 貸出密度……住民ひとりあたりの貸出資料数。

²⁶ 日本図書館協会の調査「貸出密度上位の公立図書館整備状況・2019」による。

3. 第3次サービス計画（改訂版）で掲げる基本理念・基本方針・基本目標

3-1. 基本理念『市民と共に育つ図書館』

市民にとって利用しやすく役に立つ身近な図書館として成長していけるよう、『市民と共に育つ図書館』を理念として、常に自己変革を進めていきます。

また、市民の知る権利を保障するため、本館・分館・分室の運営と自動車図書館の運行により、市内全域で資料・情報を提供するとともに、市民の教養・文化・生涯学習の拠点として市民相互の交流を図り、地域社会の文化のかけ橋となります。

3-2. 基本方針

第5次佐賀市教育振興基本計画の施策である「いつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の推進」にむけて、佐賀市立図書館においては、市民が生涯学習や読書活動を行うための情報や資料を整備し、また、家庭・学校・地域・公民館等での人づくり・地域づくりに関する教育・学習活動を支援していきます。

また、図書館本館が、誰にとっても開放的で居心地のよいサードプレイスとしての図書館となるように、公園のように過ごせる図書館「ライブラリーパーク」をコンセプトとして整備を進めます。

なお、多岐にわたる図書館サービスの総合的な評価のために設定する成果指標及びその目標値は、本館の実績値に依るところが大きいことから、本館工事に伴う休館による影響を勘案して、サービス計画（改訂版）の期間中は目標値の設定は行わず、直近の実績を参考値として記載します。

○成果指標

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
佐賀市立図書館のサービス（分館等含む）が充実していると思う市民の割合	61.9%	・教育政策市民満足度調査による
佐賀市立図書館のサービスに満足している利用者の割合	93.9%	・図書館利用者アンケート調査による

3-3. 4つの基本目標

現行のサービス計画では、次の4つの基本目標に基づいた図書館サービスを提供することとしており、サービス計画（改訂版）においても同様とします。

（1）個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

市内全域への基本的な図書館サービスの提供によって、個人や地域における読書活動や生涯学習、課題解決に貢献します。また、市民の知的好奇心を刺激することで、市民の生きがいづくりや図書館利用に繋がっていきます。

（2）子どもの成長に役立つ図書館

子どもが生涯にわたって読書に親しみ、様々な資料や情報を利用して自ら学ぶ力を養うための取組を行います。また、小中学校や幼稚園・保育園・認定こども園や、読み語りボランティア活動を行う団体など、子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。

（3）多様な人々が集う図書館

市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。また、多様な考え方や生き方に応える資料を提供するとともに、日本語を母国語としない人や、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人でも気軽に利用できる図書館づくりを行います。

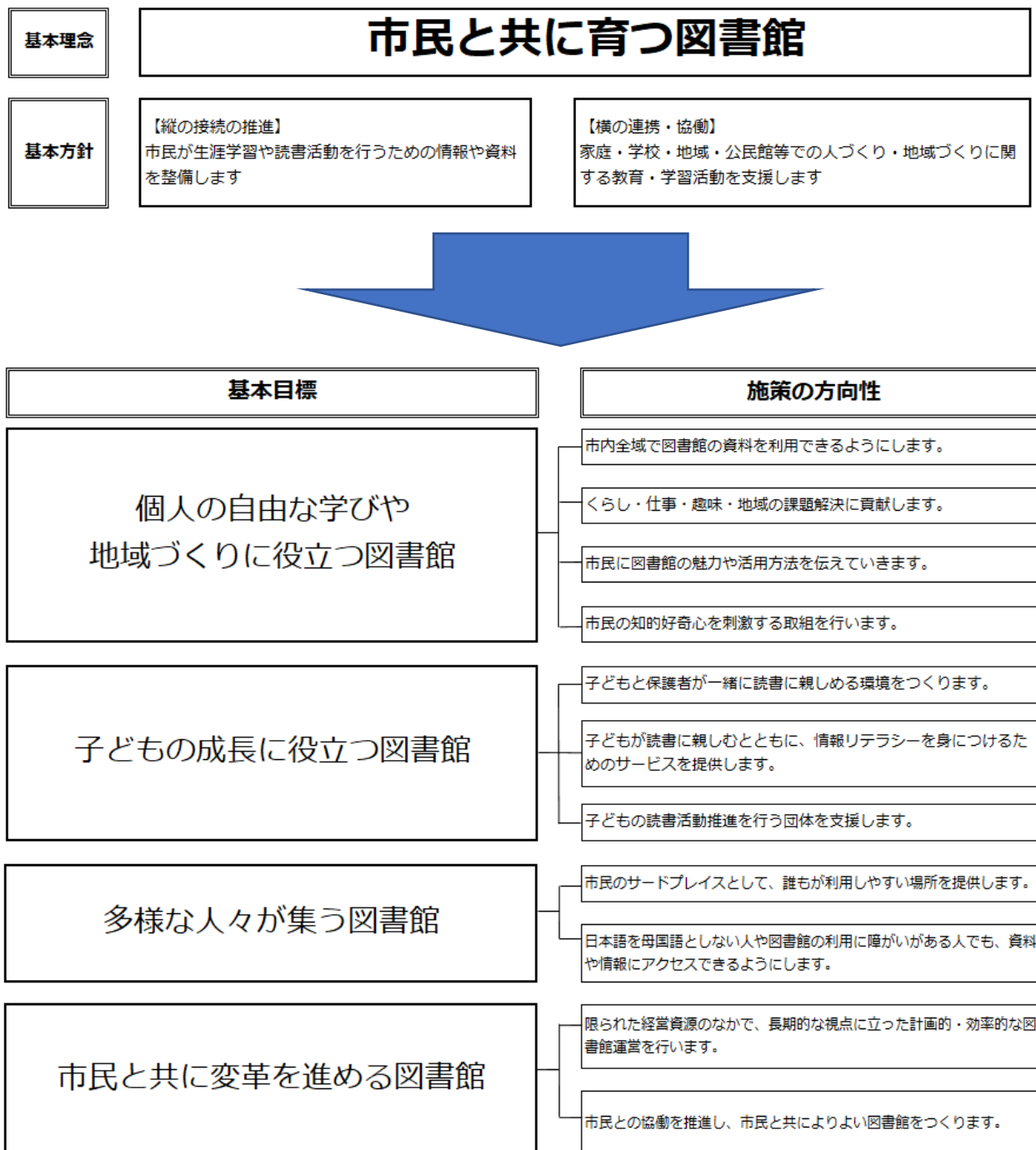
（4）市民と共に変革を進める図書館

市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。また、限られた経営資源の中で、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。

3-4. 年度事業計画

第3次サービス計画では、年度事業計画を毎年作成し、図書館協議会に諮るとともに、計画した事業やサービスについては各係・各担当で適切な進捗管理と目標の設定を行い、その結果については次年度以降の年度事業計画策定に活用しており、サービス計画（改訂版）においても同様とします。

3-5. 施策体系



4. 4つの基本目標と施策

4つの基本目標に基づいた図書館サービスを実現するために、施策の方向性とサービスや事業を掲げます。

4-1. 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

○成果指標

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
市民の図書館利用登録率	38.7%	・市内在住者の個人登録数÷住基人口 （図書館業務統計）
貸出サービスを利用した市民の数	21,951人	・図書館業務統計 ・1年間の利用状況を集計
市民一人あたりの貸出点数	6.07点	・総貸出点数÷住基人口（図書館業務統計） ・日本図書館協会の公共図書館調査により他館と比較可能

○関連指標 ※上位計画や他部署で管理している指標のうち、図書館も注視すべき指標を挙げる。

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身につけるための取組をしている市民の割合	31.3%	・「第5次佐賀市教育振興基本計画」に記載。市民意向調査による。

方向性①：市内全域で図書館の資料を利用できるようにします。

（施策の具体例）

○分館・分室の運営と自動車図書館の運行

市内のサービス拠点として、7分館6分室の運営と自動車図書館の運行を行います。

○電子図書館システムでのサービスの提供

オンラインで予約・貸出・返却が可能な電子図書館サービスを提供します。

○資料の貸出/返却/予約サービスの提供

図書館の資料の貸出・返却・予約サービスを各サービス拠点で提供します。

○団体貸出サービスの提供

学校や読書活動を行う団体などに、1,000冊までの資料を3カ月間貸出します。

○WebOPAC/館内 OPAC の提供

いつでもどこでも図書館の本を探ることができるように、オンライン蔵書目録（OPAC）の提供を行います。

方向性②：暮らし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。

（施策の具体例）

○レファレンス（調べもの相談）サービス

図書館資料などを利用して、調べものを支援します。

○リクエスト/相互貸借サービス

佐賀市立図書館に所蔵がない資料については、他の図書館からの取り寄せや購入の要望ができるサービスを行います。

○図書館資料の整備

市民のニーズに応じた資料の提供ができるよう、図書館資料を整備します。また、利用が減少している視聴覚資料やマンガ資料の収集方針について再検討します。

○商用データベースやデジタル化資料などの提供

商用データベースや新聞のデジタル化資料を提供します。また、国立国会図書館が提供するデジタル化資料や「歴史的音源」²⁷の利用環境を本館で提供します。

○図書館資料の複写サービス

佐賀市立図書館所蔵の資料については、著作権法第 31 条（図書館等における複製）の範囲内で複写できます。

○インターネット接続サービス

インターネット上の情報資源を調査研究に活用するため、利用者が持ち込んだパソコンでインターネットに接続できるモバイルインターネットコーナーと公衆無線 LAN を本館で提供します。なお、分館・分室は併設する公民館で公衆無線 LAN が利用できます。

○他の図書館等と連携した課題解決支援

より専門的な資料や情報を求める利用者に対し、必要に応じて近隣の大学図書館や佐賀県立図書館の資料を案内します。また、ビジネス支援や郷土資料分野について、佐賀県立図書館や専門機関との連携を念頭に置いて今後のサービスのあり方を検討します。

²⁷ 「歴史的音源」：歴史的音盤アーカイブ推進協議会（HIRAC）がデジタル化した、1900 年初頭から 1950 年頃までに国内で製造された SP 盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源。

方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。**(施策の具体例)****○様々なメディアによる情報発信**

市報、図書館報、ホームページやSNS、その他のメディアを通じて、図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。特に利用が少ない10代後半から20代までの利用者呼び込むため、それらの世代が普段利用しているメディアを活用するとともに、メディアの特性を考えた情報発信を行います。

○来館のきっかけとなるイベントの開催

図書館利用のきっかけとなるようなイベントを開催していきます。新規利用に繋げるイベントや広報の実施にあたっては、単に「未利用者」や「若者」などとひとくくりにするのではなく、世代や属性などを考慮しターゲットを絞ったうえで行います。

方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。**(施策の具体例)****○資料の展示・ポスターやチラシの掲示**

季節や時事にあわせた資料やパンフレットを館内に展示します。また、市民が興味を持つイベントや活動を紹介するため、ポスターの掲示やチラシの配布を行います。

○市民向け講座等の開催

郷土史やデータベース活用に関する講座などを開催します。また、学習成果を発表できる機会を提供するための取組を行います。

○レファレンス事例の公開（「レファレンス協同データベース」への事例登録）

インターネットを通して市民が図書館のレファレンス事例をいつでも閲覧できるように、国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」にレファレンス事例を登録します。

4-2. 子どもの成長に役立つ図書館

○成果指標

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
佐賀市立図書館のサービス（分館等含む）が充実していると思う市立小中学校の保護者の割合	74.4%	・教育政策市民満足度調査による
佐賀市立図書館の児童コーナー利用者の満足度	96.6%	・図書館利用者アンケート(本館分)による。「わからない・利用しない」「未回答」を母数から除く。
0歳～18歳の市民の利用登録率	33.2%	・市内在住者の個人登録数÷住基人口（図書館業務統計）
0歳～18歳の市民一人あたりの貸出点数	7.21点	・0～18歳の市内在住者への総貸出点数÷住基人口（図書館業務統計）

○関連指標 ※上位計画や他部署で管理している指標のうち、図書館も注視すべき指標を挙げる。

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
子どもに本を読んであげている家庭の割合	93.5%	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載（健康づくり課指標）
学校の授業時間以外に読書をする小学生の割合	72.1%	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載（学校教育課指標）
学校の授業時間以外に読書をする中学生の割合	54.8%	・「佐賀市子どもの読書活動推進計画」に記載（学校教育課指標）

方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。

（施策の具体例）

○子どもと保護者が一緒に利用しやすいサービスの提供

子どもと保護者が一緒に読書に親しめるよう、図書館の環境や蔵書を整備します。また、児童サービスに精通した司書を配属するため、研修の充実や人員確保に努めます。

○子どもと保護者が一緒に楽しめるおはなし会の開催

定例のおはなし会や季節のおはなし会を開催します。あかちゃんと保護者を対象にしたおはなし会を開催するなど、子どもと保護者が一緒に参加しやすい会の運営を行います。また、運営にあたっては読み語りボランティアとの協働を行います。

○乳幼児と保護者が一緒に本に親しむための取組

「えほんであそぼっ！あかちゃんの絵本ガイドブック」を作成し、佐賀市立図書館で配布するほか、佐賀市の保育園・認定子ども園等へも配布します。また、「**乳児家庭全戸訪問**」の際にも配布します。

方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシー²⁸を身につけるためのサービスを提供します。

(施策の具体例)

○子どもが新たな知識や本と出会うための取組

おすすめの本について展示や小冊子での紹介を行います。また、子どもから大人への転換期にある中高生を対象とした資料の展示を行う「ヤングアダルトコーナー」を本館と一部の分館に設置します。日本語を母国語としない子どもや、母国語以外の言語に親しみたい子どものために、外国語の絵本の収集・提供を行います。

○子どもが図書館や本への興味を持つきっかけづくり

子どもが図書館や本に興味を持つきっかけとなるイベントを開催するとともに、図書館に親しみを持ってもらえるよう、子どもが図書館に手紙を送ることができるポストを本館児童コーナーに設置し、手紙と**その**返事を児童コーナー内で閲覧できるようにします。また、図書館の見学や職場体験の受入を積極的に行い、将来的に司書資格の取得を目指す生徒がいる場合は、資格の取得方法などについてもアドバイスを行います。

○子どもが情報リテラシーを身につけるための取組

夏休みの自由研究の目的やテーマの決め方、調査方法やまとめ方などについて専門の講師を招いて個別指導を行う「夏休み自由研究 君を助け隊」や、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールの開催を行います。「図書館を使った調べる学習コンクール」の開催にあたっては、「調べる学習小学生講座」を開催して参加のきっかけづくりを行います。

○郷土に関する調べ学習を支援する取組

郷土に関するパスファインダー（特定のテーマに関する文献、情報の探し方・調べ方の案内をまとめたもの）を学校に紹介するなど、子どもが郷土に関する調べ学習を行うための支援をします。

²⁸ 情報リテラシー：目的を達成するため、多くの情報資源のなかから必要な情報を探し出し、分析、活用する能力。

方向性③：子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。**(施策の具体例)****○資料の団体貸出や除籍資料の配布**

学校や読み語り活動を行うグループ、保育園等を対象に団体貸出を行うとともに、大型紙芝居やパネルシアターなど、おはなし会用の資料の貸出も行います。また、佐賀市立図書館で除籍した資料について、市立の小中学校や市の関連施設等に配布します。

○読書や読み語りに関する情報提供や相談受付

学校・保育園・幼稚園・認定こども園等に対し、読書や読み語りに関する情報提供や相談受付を行います。また、市立の小中学校の学校図書館と積極的に情報共有を行うことで、団体貸出にとどまらない支援のあり方を検討します。

○読み語りボランティア活動の支援

ボランティアをしている人の知識や技術の向上を図るために「読み語り講座」を行うとともに、新たに活動をしたいと考えている人が活動に参加できるようボランティア団体の紹介を行います。

4-3. 多様な人々が集う図書館

○成果指標

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
佐賀市立図書館の居心地への満足度	96.2%	・図書館利用者アンケートによる ・「わからない・利用しない」「未回答」を 母数から除く。

方向性①：市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。

（施策の具体例）

○わかりやすい案内サービス

誰にでもわかりやすい案内表示を行います。

○多様なスペースの提供

本館では、閲覧スペースの提供だけでなく、多目的ホールや大集会室、ギャラリーなどの市民が多様な活動を行うための施設の貸出を行います。また、喫茶室や屋外読書スペースなど、読書活動等に疲れた際に一息つける場所を提供します。

○安心して使用できる居心地のいい空間の提供

誰もが安心して使用できる居心地のよい空間を提供するため、毎日の清掃や定期的な施設の点検・修理、施設の警備を行います。

方向性②：日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。

（施策の具体例）

○日本語を母国語としない人へのサービス

日本語を母国語としない人が図書館を利用できるよう、外国語での図書館サービス案内作成や多言語の表示を追加していきます。また、市内在住者の母国語の傾向や日常の情報行動を調査し、今後の外国語資料のあり方を検討します。

○障がいにより図書館の利用や読書が困難な人へのサービス

利用者それぞれの特性に応じた資料やサービスを提供するため、点字資料やマルチメディアデジタル図書、大活字本を収集するとともに、対面朗読サービスの実施や拡大読書器の提供を行います。ま

た、障がいにより図書館に来館することが困難な方を対象に、郵送や宅配による貸出サービスを実施します。

佐賀県立視覚障害者情報・交流センター“あい さが”などの関連団体・関連部署と連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討します。その一環として、図書館に来館することが困難な方でも気軽に利用できる電子図書館サービスを実施します。

○高齢者を対象としたサービス

小さな文字が見えづらくなった方のために、大活字本を継続して収集するとともに、拡大読書器や老眼鏡、ルーペを館内で提供します。また、高齢者が健康で生きがいを持って生活するために、図書館ができることを検討します。



本館閲覧スペース



本館ハンディキャップサービスコーナー

4-4. 市民と共に変革を進める図書館

○成果指標

指標	令和6年度 実績（参考）	指標の算出方法等
各年度の事業計画の目標達成率	46.7%	・各年度の事業計画で設定した目標値の達成率
図書館ボランティアの満足度	81.3%	・図書館ボランティアへのアンケート調査による

方向性①：限られた経営資源の中で、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。

（施策の具体例）

○年度事業計画の策定と管理

年度事業計画を策定し、事業やサービスの進捗管理を行います。事業計画は、図書館協議会に諮問し策定するとともに、事業やサービスの成果検証を行い、次年度以降の事業計画策定に活用します。

○長期的な視点での本館施設の管理

佐賀市立図書館本館は、令和6年度に策定された大規模改修基本構想・基本計画に基づき、老朽化した施設の長寿命化を図るとともに、情報収集や生涯学習の拠点としての従来機能はさらに発展させつつ、これまであまり図書館を利用していなかった人たちにも来館していただけるような、新たな魅力を備えた図書館、「ライブラリーパーク」へと生まれ変わるための大規模改修を進めます。

○司書の確保と資質向上への取組

図書館の専門職である司書の確保に努めるとともに、佐賀市立図書館で勤務する司書の資質向上のために、館内研修の実施や外部研修への参加を行っていきます。また、将来の司書を育てるため、大学や短期大学から実習生の受入を行います。

○危機管理や業務継続性に関する取組

災害が発生した際に迅速な対応を行えるよう、消防・水防訓練を実施するとともに、大規模災害発生時や感染症蔓延時の図書館のあり方を検討します。また、安定した図書館サービスを提供するため、図書館業務用の電算システムの安定的な運用を行います。

○業務効率化や外部資金活用のための取組

限られた人員や予算の中で図書館サービスを効率的に提供するため、生成 AI²⁹の導入検討など業務効率化の取組を行います。企業等が、図書館所蔵の雑誌の購入代金を負担することで、その雑誌カバーの表面と裏面に広告を掲載することができる雑誌スポンサー制度の運用など、外部資金の活用も行います。

○将来の図書館サービスのあり方の検討

全国の先進図書館の事例収集や、有識者による講演会や各種講座への参加を行うことで、将来の図書館サービスのあり方を検討します。また、一般に普及しつつある電子書籍を利用したサービスの導入について、目的や効果を明確にしながら検討します。

○図書館要覧の作成

佐賀市立図書館の概要（沿革、施設、理念、事業、各種統計など）を記載した図書館要覧を毎年作成し、年度事業計画の策定等に活用します。また、ホームページで公開することで、誰でも閲覧できるようにします。

○環境に配慮した取組

除籍資料のリユース（学校や市民等への頒布）やリサイクル（古紙回収）を行います。また、太陽光発電システムなどにより本館の省エネに取り組みます。

方向性②：市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。

（施策の具体例）

○市民団体やボランティアとの協働

「図書館を友とする会・さが」やボランティアとの協働により、図書館サービスの向上を図ります。また、ボランティア養成講座の開催や、ボランティアの活動実態や満足度を把握する取組を行うことで、市民の生きがいづくりに繋がります。

○有識者や市民の意見の活用

有識者と公募委員で構成する図書館協議会を定期的に開催し、図書館の計画や事業、サービスについて諮問を行います。また、日々の業務や利用者アンケート等で市民からいただく意見については、図書館運営の参考にしていきます。

²⁹生成 AI……学習したパターンや関係性をもとに、テキスト、画像、音声、動画などの新しいコンテンツを自律的に作り出す人工知能



本計画と関連する SDGs の目標



SDGs とは、Sustainable Development Goals の略称であり、一般的に「持続可能な開発目標」と訳されています。2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。17 の目標・169 のターゲットから構成され、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

佐賀市立図書館は、多様な資料の提供とレファレンス（調べものの支援）を中心とした図書館サービスによって、SDGs に定められた 17 の目標のうち、特に「すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことに貢献します。

第 3 次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）

発行：佐賀市教育委員会 教育部 図書館

《令和 8 年 3 月》

〒840-0815 佐賀市天神三丁目 2 番 15 号

TEL:0952-40-0001 FAX:0952-40-0111

E-mail : toshokan@city.saga.lg.jp

Web : <https://www.lib.saga.saga.jp/>



令和8年度

佐賀市立図書館事業計画

【第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）の成果指標】

指標	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績(参考)	調査方法
佐賀市立図書館のサービス (分館等含む)が充実している と思う市民の割合	63.1%	65.2%	62.6%	61.9%	教育政策 市民満足度調査
佐賀市立図書館のサービスに 満足している利用者の割合	77.8%	87.1%	87.4%	93.9%	図書館利用者 アンケート調査

※第3次佐賀市立図書館サービス計画（改訂版）では、本館工事に伴う休館による影響を勘案して、計画期間中の目標値の設定は行わず、直近の実績を参考値として記載することとしている。

【令和8年度の重点事業】

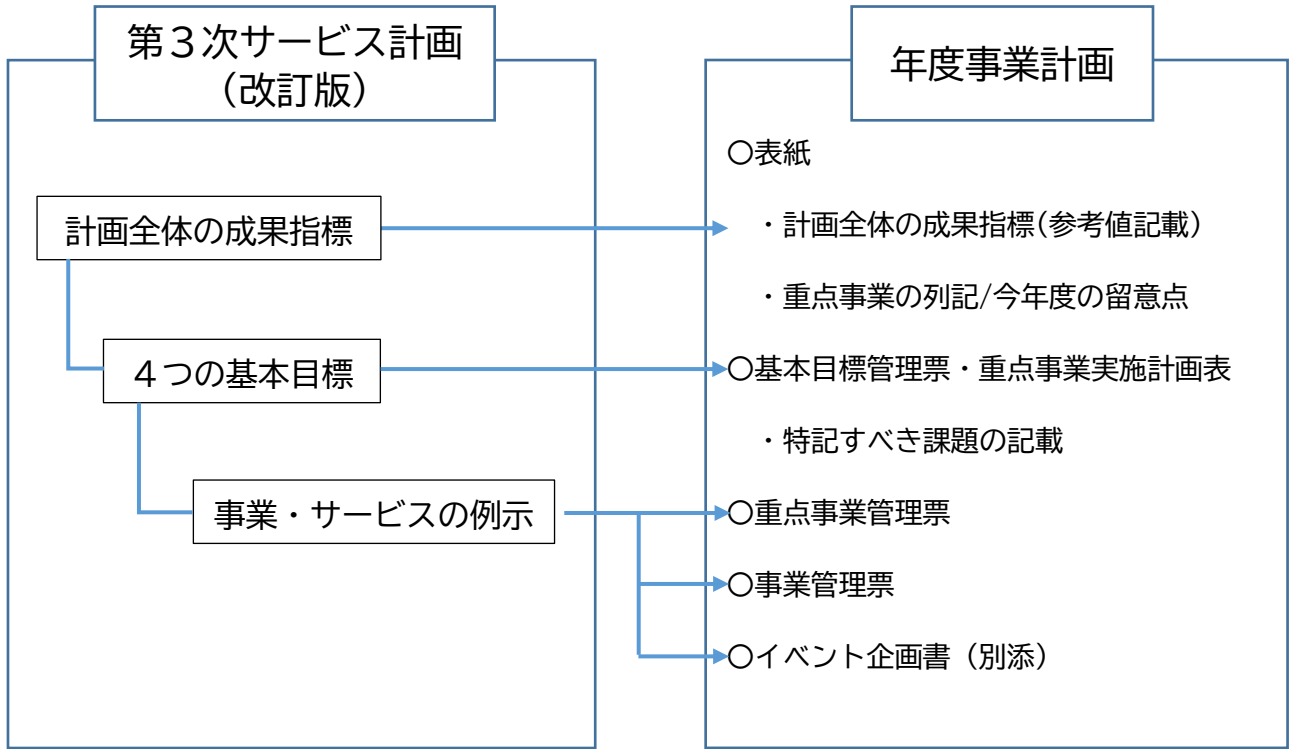
◎図書館と接点がない保護者に興味を持ってもらう取組	【サービス二係】
◎本館大規模改修事業（R7～8：実施設計）	【総務企画係】
◎「佐賀ライブラリーパーク」管理・運営方針の策定	【総務企画係】

【令和8年度の事業実施にかかる留意点】

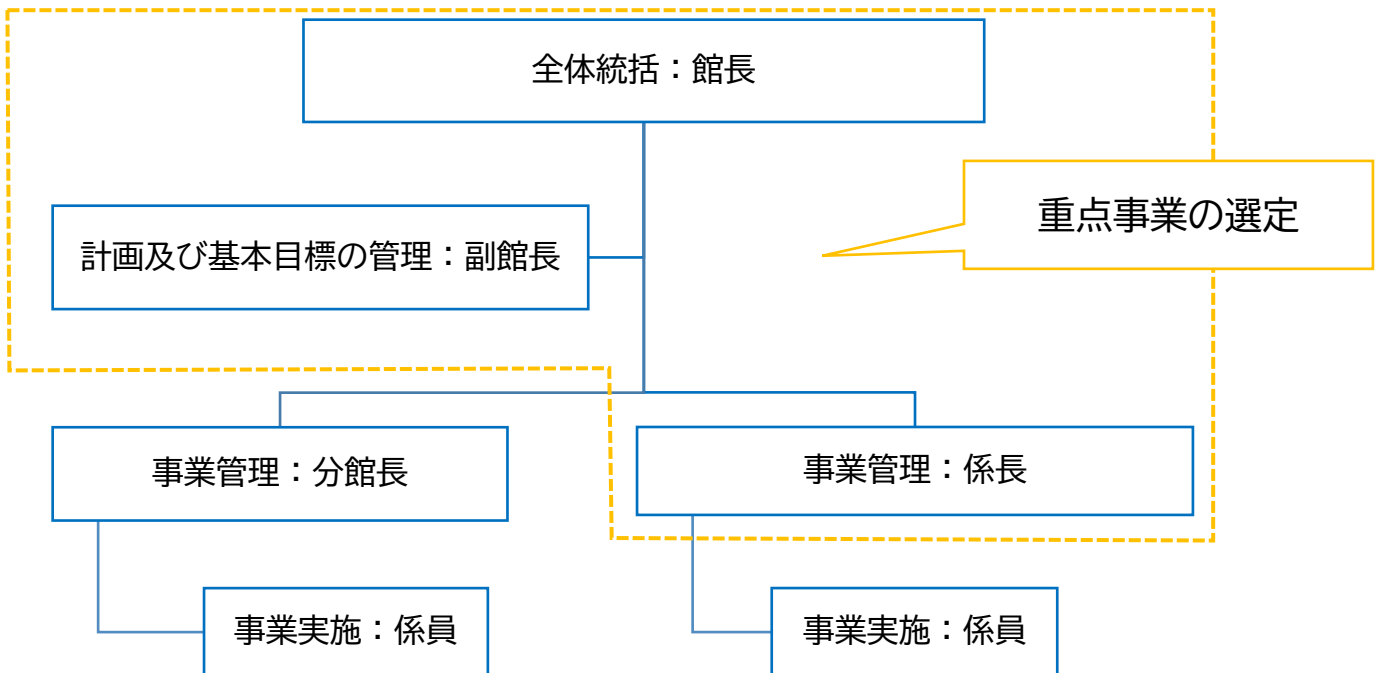
○計画する事業を進めながら、本館の大規模改修に伴う工事期間中のサービス供給に関する検討・協議を行うとともに、本館の休館について、市民への周知を図る。
○本館の大規模改修にかかる実施設計は、基本構想・基本計画に基づく基本設計を的確に反映させることを心掛ける。

年度事業計画の構成及び推進体制について

1. 計画の構成



2. 推進体制



基本目標管理票

基本目標①：個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

基本目標	1. 個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館									
目標概要	市内全域への基本的な図書館サービスの提供によって、個人や地域における読書活動や生涯学習、課題解決に貢献します。また、市民の知的好奇心を刺激することで、市民の生きがいつくりや図書館利用に繋げていきます。									
施策の方向性	方向性①：市内全域で図書館の資料を利用できるようにします。 方向性②：くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。 方向性③：市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。 方向性④：市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。									
成果指標 (参考値)	指標	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	調査方法
	市民の図書館利用登録率	37.6%	38.0%	38.3%	38.7%					市内在住者の個人登録数÷住基人口
	貸出サービスを利用した市民の数	23,146人	22,839人	22,432人	21,951人					図書館業務統計
	市民一人あたりの貸出点数	6.92点	6.57点	6.22点	6.07%					総貸出点数÷住基人口
その他指標 (参考値)	仕事や学校以外で、何らかの知識や技術を身につけるための取組をしている市民の割合	27.6%	26.6%	29.4%	29.3%					市民意向調査

基本目標管理票

基本目標①：個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

基本目標	2. 子どもの成長に役立つ図書館									
目標概要	子どもが生涯にわたって読書に親しみ、様々な資料や情報を利用して自ら学ぶ力を養うための取組を行います。また、小中学校や幼稚園・保育園・認定こども園や、読み語りボランティア活動を行う団体など、子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。									
施策の方向性	方向性①：子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくれます。 方向性②：子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。 方向性③：子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。									
成果指標 (参考値)	指標	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	調査方法
	佐賀市立図書館のサービス (分館等含む)が充実していると思う 市立小中学校の保護者の割合	78.0%	83.1%	77.7%	74.4%					市民満足度調査 (教育政策)
	佐賀市立図書館の児童コーナー 利用者の満足度	95.3%	94.8%	93.5%	96.6%					図書館利用者アンケート (全館)
	0歳～18歳の市民の利用登録率	35.3%	34.3%	33.7%	33.2%					市内在住者の 個人登録数÷住基人口
	0歳～18歳の市民一人あたりの 貸出点数	8.35点	7.83点	7.41点	7.21点					0-18歳の市内在住者への 総貸出点数÷住基人口
その他指標 (参考値)	子どもに本を読んであげている 家庭の割合	93.6%	93.2%	93.0%	93.5%					「佐賀市子どもの読書 活動推進計画」に記載 (こども健康課指標)
	学校の授業時間以外に読書をする 小学生の割合	80.4%	74.3%	77.8%	72.1%					「佐賀市子どもの読書 活動推進計画」に記載 (学校教育課指標)
	学校の授業時間以外に読書をする 中学生の割合	69.5%	67.9%	67.9%	54.8%					「佐賀市子どもの読書 活動推進計画」に記載 (学校教育課指標)





基本目標		3. 多様な人々が集う図書館								
目標概要	市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。また、多様な考え方や生き方に応える資料を提供するとともに、日本語を母国語としない人や、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人でも気軽に利用できる図書館づくりを行います。									
施策の方向性	方向性①：市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。 方向性②：日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。									
成果指標 (参考値)	指標	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	調査方法
	佐賀市立図書館の居心地への満足度	95.7%	91.0%	95.5%	96.2%					図書館利用者アンケート (本館分)
										※「未回答・分からない・ 利用しない」を除く。
その他指標 (参考値)										

基本目標管理票

基本目標①：個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館

基本目標		4. 市民と共に変革を進める図書館								
目標概要	市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくれます。 また、限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。									
施策の方向性	方向性①：限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。 方向性②：市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくれます。									
成果指標 (参考値)	指標	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 実績	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 実績	R9年度 実績	R10年度 実績	調査方法
	各年度の事業計画の目標達成率	44.2%	43.7%	47.0%	46.7%					各年度の事業計画で 設定した目標値の達成率
	図書館ボランティアの満足度	87.5%	73.5%	86.6%	81.3%					図書館ボランティア へのアンケート調査
その他指標 (参考値)										

重点事業実施計画表（令和8年度～10年度）

基本目標	課 題		
	令和8年度	令和9年度	令和10年度
1. 個人の自由な学びや 地域づくりに役立つ図書館		自動車図書館車両の運行見直し (本館休館対応)	
2. 子どもの成長に役立つ図書館	図書館と接点がない保護者に 興味を持ってもらう取組		
3. 多様な人々が集う図書館	本館大規模改修事業 (R7～8:実施設計)	本館大規模改修事業 (R9～10:改修工事)	
4. 市民と共に変革を進める図書館	「佐賀ライブラリーパーク」 管理・運営方針の策定		
		図書館情報ネットワークシステム 更新事業	
			佐賀市立図書館サービス計画の 策定(第4次)

令和8年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名	図書館と接点がない保護者に対して興味を持ってもらう取組														
事業年度	令和8年度～	令和8年度事業費	0千円	担当係・担当者	サービス二係	原口									
関連する基本目標/方向性	②子どもの成長に役立つ図書館		方向性①:子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。												
事業概要 (目的・内容)	<p>乳幼児を含む子ども達を楽しめる資料やイベント等があることを知ってもらい、図書館に足を運んでもらうために、保護者である子育て世代に図書館の情報を広く届くようにする。</p> <p>①「佐賀市公式LINE」を利用した子育て世代への情報配信 ・定例おはなし会の情報発信 ・館内チラシ・ポスター・ホームページ、県立図書館経由の「ワイヤーママ」や、「佐賀市公式LINE」で情報配信をする。 ・新着「赤ちゃん絵本」の案内 4か月に一度程度、新たに受け入れた赤ちゃん絵本等の紹介をするとともに、利用登録等についても案内する。</p> <p>②赤ちゃん絵本ガイドブックの配布 図書館各館で配布するとともに、こども健康課が行っている乳児家庭全戸訪問の際に配布する。</p>														
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<p>○館内チラシ・ポスター・ホームページ、県立図書館経由の「ワイヤーママ」による広報は、ある程度図書館に関心がある人に届けることができる。</p> <p>○図書館に関心がやすい子育て世代については、「佐賀市公式LINE」により、情報配信をする。</p>														
事業内容			上半期			下半期			進捗	詳細					
			4	5	6	7	8	9			10	11	12	1	2
	定例おはなし会の案内	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		実績													
	新着「赤ちゃん絵本」の紹介	年間計画			*				*				*		
		実績													
	赤ちゃん絵本ガイドブックの配布	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		実績													
		年間計画													
		実績													
		年間計画													
		実績													
		年間計画													
		実績													
	年間計画														
	実績														
成果	成果指標もしくは成果品		R6年度実績			R7年度実績			R8年度中間実績	R8年度目標値	調査方法				
	定例おはなし会の参加者		1,624			1,152 (R7.12.31現在)				1,800					
	23歳～39歳(子育て世代)の登録者数(市内在住)		17,373			17,111 (R7.3.31現在)				17,600					

令和8年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		図書館本館大規模改修事業（R8年度 実施設計業務）												
事業年度	令和5年度～令和10年度	令和8年度事業費	136,941千円	担当係・担当者	総務企画係	増本・峰松								
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性①: 限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。											
事業概要 (目的・内容)	<p>図書館本館の建築物や設備の劣化等による不具合を解消するために、全体的な改修を行う。 あわせて、バリアフリー化やデジタル化による利便性の向上や、滞在できる居場所づくりに向けたレイアウトの見直しなど、これからの図書館に求められる施設機能向上のための改修にも取り組み、「SAGA LIBRARY PARK」を体現する。</p> <p>【事業スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和8年4月以降 ～ 令和8年度中を予定 実施設計業務 ○実施設計完了次第 ～ 令和10年度中を予定 整備工事 ○令和10年度中を予定 完成及び開館 													
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	<ul style="list-style-type: none"> ○実施設計に際しては、基本設計を的確に反映すること ○人件費高騰、物価高騰に伴い、工事実施時には費用が大きく上振れする恐れあり(市村記念体育館、アサヒビール鳥栖工場等) ○資材調達の都合、人材不足、労働基準法改正(働き方改革)の影響等による工期延伸の恐れあり 													
事業内容	内容	上半期			下半期			進捗	詳細					
		4	5	6	7	8	9			10	11	12	1	2
	実施設計事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		実績												
	工事予算事務	年間計画				*	*	*	*	*				
		実績												
	仮移転先調整事務	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		実績												
		年間計画												
		実績												
		年間計画												
		実績												
		年間計画												
		実績												
	年間計画													
	実績													
成果	成果指標もしくは成果品	R6年度実績		R7年度実績		R8年度中間実績		R8年度目標値		調査方法				
	実施設計の完了	—		委託業者の決定				実施設計の完了		—				
	仮移転調整事務	—		仮移転先の決定 引越し費用等調査				引越しにかかる 詳細の調整		—				

令和8年度 佐賀市立図書館 重点事業管理票

事業名		「佐賀ライブラリーパーク」管理・運営方針の策定												
事業年度	令和8年度	令和8年度事業費	0千円	担当係・担当者	総務企画係	増本・峰松								
関連する基本目標/方向性	④市民と共に変革を進める図書館		方向性①:限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。											
事業概要 (目的・内容)	<p>(目的) 本市の様々な図書館事業やサービスの在り方を定める「佐賀市立図書館サービス計画」と連動し、主に本館大規模改修工事期間中、及びリニューアル後の施設の管理運営の基本的な方向性を示す管理・運営方針を策定すること。</p> <p>(内容) 図書館及びその事業は、将来のまちや市民が目指すまちづくり(将来像)を掲げ、その実現のための各分野の事業展開の基本方向を体系的にまとめた本市の最上位計画である「第3次佐賀市総合計画」において掲げる、【分野別計画】「01 子育て・教育」の【施策】「いつでもどこでも学ぶことができる生涯学習の推進」に資する施設、事業として位置づけられている。 また、佐賀ライブラリーパーク事業によるリニューアル後は、新たに従来の社会教育の枠組みを超えて市民の学びや暮らしに貢献するサービスを提供することで、総合計画が掲げる将来像「佐賀らしさでみんなが上を向くまち」の実現に寄与することが求められている。 そこで、本施設に期待されている役割を達成するための管理運営の取り組み方針として、「佐賀ライブラリーパーク」の管理・運営方針を策定するものである。</p>													
	<p>○工事期間中、職員は複数の市有施設に分散して、サービス品質の維持やリニューアル後の準備作業に取り組むこととなるため、適切な人員配置、労働環境の確保について留意する必要がある。 ○リニューアル後は、図書館と公園が隣接することの相乗効果を十分発揮できるよう、リニューアル後の一体的な運用について、留意する必要がある。 ○市民の利便性の向上と効率的な運営を両立させるために、ICT(情報通信技術)やデジタルコンテンツ等の活用について留意する必要がある。</p>													
本年度の事業を進めていく上での「課題」や「留意点」など	内容	上半期			下半期			進捗	詳細					
		4	5	6	7	8	9			10	11	12	1	2
	管理運営方針の策定	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
		実績												
	工事期間中の運営体制の決定	年間計画	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
		実績												
		年間計画												
		実績												
		年間計画												
		実績												
		年間計画												
		実績												
		年間計画												
		実績												
		年間計画												
		実績												
成果	成果指標もしくは成果品	R6年度実績			R7年度実績			R8年度中間実績	R8年度目標値	調査方法				
	管理運営方針の策定	-			1,152 (R7.12.31現在)				方針の策定	-				
	工事期間中の運営体制の決定	-			17,111 (R7.3.31現在)				運営体制の決定	-				

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	①市内全域で図書館の資料が利用できるようにします
サービス計画に記載した具体例	○分館・分室の運営と自動車図書館の運行 ○資料の貸出/返却/予約サービスの提供 ○団体貸出サービスの提供 ○WebOPAC/館内OPACの提供
「課題」、「留意点」	・登録者数は増加しているものの、貸出点数は年々減少傾向にあるため、貸出に繋がるような取り組みを検討する必要がある。 ・来館者数はあまり変動がないことから、リピート利用の割合が多いものと考えられるため、図書館をこれまであまり利用していない人を呼び込む仕掛け作りが必要である。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	本館の運営 及び貸出サービスの提供	旧佐賀市内を中心に、住民及び市内に 通勤・通学する方への貸出サービスの 提供を行う。	通年サービス	① 旧佐賀市内の利用登録率 (40.2%/R6年度末) ② 旧佐賀市内の人口当たり貸出点数 (6.1点/R6年度) ③ 本館の貸出点数 (857,918点/R6年度) ④ 本館の利用満足度 (95.2%/R7年5月調査)	① 40.3% ② 6.5点 ③ 860,000点 ④ 95.2%		サービス係 真子
	大和館の運営 及び貸出サービスの提供	主に大和町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 大和町の利用登録率 (38.8%/R6年度末) ② 大和町の人口当たり貸出点数 (5.6点/R6年度) ③ 大和館の貸出点数 (151,659点/R6年度) ④ 大和館の利用満足度 (96.8%/R7年5月調査)	① 40.0% ② 5.8点 ③ 153,000点 ④ 96.8%		大和館 宮崎
	諸富館の運営 及び貸出サービスの提供	主に諸富町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 諸富町の利用登録率 (32.6%/R6年度末) ② 諸富町の人口当たり貸出点数 (3.6点/R6年度) ③ 諸富館の貸出点数 (50,753点/R6年度) ④ 諸富館の利用満足度 (94.2%/R7年5月調査)	① 34.0% ② 3.8点 ③ 52,000点 ④ 94.2%		諸富館 大塚
	東与賀館の運営 及び貸出サービスの提供	主に東与賀町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 東与賀町の利用登録率 (42.1%/R6年度末) ② 東与賀町の人口当たり貸出点数 (4.1点/R6年度) ③ 東与賀館の貸出点数 (44,231点/R6年度) ④ 東与賀館の利用満足度 (97.7%/R7年5月調査)	① 43.0% ② 4.3点 ③ 45,000点 ④ 97.7%		東与賀館 江頭
	富士館の運営 及び貸出サービスの提供	主に富士町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 富士町の利用登録率 (37.9%/R6年度末) ② 富士町の人口当たり貸出点数 (4.7点/R6年度) ③ 富士館の貸出点数 (15,077点/R6年度) ④ 富士館の利用満足度 (100%/R7年5月調査)	① 39.0% ② 4.9点 ③ 16,000点 ④ 100%		富士館 詫間
	三瀬館の運営 及び貸出サービスの提供	主に三瀬村の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 三瀬村の利用登録率 (35.0%/R6年度末) ② 三瀬村の人口当たり貸出点数 (3.7点/R6年度) ③ 三瀬館の貸出点数 (5,520点/R6年度) ④ 三瀬館の利用満足度 (100%/R7年5月調査)	① 36.0% ② 3.9点 ③ 5,600点 ④ 100%		三瀬館 詫間

川副館の運営 及び貸出サービスの提供	主に川副町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 川副町の利用登録率 (27.7%/R6年度末) ② 川副町の人口当たり貸出点数 (3.1点/R6年度) ③ 川副館の貸出点数 (18,063点/R6年度) ④ 川副館の利用満足度 (96.3%/R7年5月調査)	① 29.0% ② 3.3点 ③ 19,000点 ④ 96.3%	川副館
					大塚
久保田館の運営 及び貸出サービスの提供	主に久保田町の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	① 久保田町の利用登録率 (32.1%/R6年度末) ② 久保田町の人口当たり貸出点数 (3.9点/R6年度) ③ 久保田館の貸出点数 (20,375点/R6年度) ④ 久保田館の利用満足度 (92.0%/R7年5月調査)	① 33.0% ② 4.1点 ③ 21,000点 ④ 92.0%	久保田館
					江頭
開成分室での 貸出サービスの提供	主に開成校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・開成分室の貸出点数 (20,508点/R6年度)	21,500点	サービス一係 北島
金立分室での 貸出サービスの提供	主に金立校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・金立分室の貸出点数 (29,929点/R6年度)	31,400点	サービス一係 北島
鍋島分室での 貸出サービスの提供	主に鍋島校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・鍋島分室の貸出点数 (42,351点/R6年度)	44,500点	サービス一係 北島
高木瀬分室での 貸出サービスの提供	主に高木瀬校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・高木瀬分室の貸出点数 (34,037点/R6年度)	35,700点	サービス一係 北島
本庄分室での 貸出サービスの提供	主に本庄校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・本庄分室の貸出点数 (39,941点/R6年度)	41,900点	サービス一係 北島
巨勢分室での 貸出サービスの提供	主に巨勢校区の住民を対象に、 貸出サービスの提供を行う。	通年サービス	・巨勢分室の貸出点数 (24,935点/R6年度)	26,200点	サービス一係 北島
団体貸出(一般団体向け)サービス	読書活動を行うグループや、公民館・ 保育園、市立図書館から遠い場所で 活動する団体等を対象に貸出を行う。	通年サービス	① 年間利用一般団体数 (51団体/R6年度) ② 一般団体への年間貸出点数 (4,141点/R6年度)	① 60団体 ② 5,000点	総務企画係・各分館 豊福
自動車図書館による 貸出サービスの提供	自動車図書館の運行により、 本館・分館・分室でカバーできない 地域でも資料を利用できるようにする。	通年サービス	① サービスポイント数 (14箇所/R6年度) ② サービスポイント巡回回数 (186回/R6年度) ③ 自動車図書館貸出点数 (3,943点/R6年度)	① 14箇所 ② 200回 ③ 4,000点	総務企画係 豊福
各館間の資料の配送	資料の効率的な共有と、より多くの資料を 利用者に提供するために、本館・分館・ 分室間での資料の搬送を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-	サービス一係 北島
資料の予約(順番待ち・ 取り寄せ)サービスの提供	利用館の書架にない本を利用できるよう、 貸出中の資料の順番待ちと、 他館の資料を取り寄せるサービスを行う。	通年サービス	① 年間予約受付件数 (214,831件/R6年度) ② Web及び館内OPACからの予約割合 (86.3%/R6年度)	① 200,000件 ② 88%	サービス一係 真子
OPACの提供	いつでもどこでも市立図書館の資料を 探すことができるように、オンライン 蔵書目録(OPAC)を提供する。	通年サービス	① WebOPACの障害発生件数 (0件/R6.4~R6.12末時点) ② 館内OPACの障害発生件数 (0件/R6.4~R6.12末時点) ※端末単独の障害除く	① 2件以内 ② 2件以内	サービス一係・総務企画係 真子・若松

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	②くらし・仕事・趣味・地域の課題解決に貢献します。
サービス計画に記載した具体例	○レファレンス(調べもの相談)サービス ○図書館資料の整備 ○図書館資料の複写サービス ○他の図書館等と連携した課題解決支援 ○リクエスト/相互貸借サービス ○商用データベースやデジタル化資料などの提供 ○インターネット接続サービス
「課題」、「留意点」	・利用が減少している視聴覚資料やマンガ資料の収集方針について再検討する必要がある。 ・ビジネス支援や郷土資料分野について、佐賀県立図書館や専門機関との連携を念頭に置いて、今後のサービスのあり方を整理する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	本館レファレンスカウンターの運営	本館レファレンスカウンターの運営を行う。	通年サービス	① 本館調べもの相談件数 (18,536件/R6年度) ※本館及び団体・自動車 ② 調べものコーナーの利用者満足度 (93.4%/R7.5月調査)	① 19,000件 ② 93.4%		サービス二係 宮地
	調べもの相談(大和館)	大和館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 大和館調べもの相談件数 (3,169件/R6年度) ② 大和館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R7.5月調査)	① 3,200件 ② 100%		大和館 宮崎
	調べもの相談(諸富館)	諸富館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 諸富館調べもの相談件数 (655件/R6年度) ② 諸富館の調べもの相談への利用者満足度 (93.3%/R7.5月調査)	① 700件 ② 93.3%		諸富館 大塚
	調べもの相談(東与賀館)	東与賀館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 東与賀館調べもの相談件数 (1,046件/R6年度) ② 東与賀館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R7.5月調査)	① 1,100件 ② 100.0%		東与賀館 江頭
	調べもの相談(富士館)	富士館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 富士館調べもの相談件数 (536件/R6年度) ② 富士館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R7年5月調査)	① 550件 ② 100%		富士館 詫間
	調べもの相談(三瀬館)	三瀬館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 三瀬館調べもの相談件数 (385件/R6年度) ② 三瀬館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R7年.5月調査)	① 390件 ② 100%		三瀬館 詫間
	調べもの相談(川副館)	川副館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 川副館調べもの相談件数 (488件/R6年度) ② 川副館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R7.5月調査)	① 500件 ② 100%		川副館 大塚

事業内容	調べもの相談(久保田館)	久保田館で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	① 久保田館調べもの相談件数 (273件/R6年度) ② 久保田館の調べもの相談への利用者満足度 (100%/R7.5月調査)	① 280件 ② 100%	久保田館 江頭
	調べもの相談(6分室)	各分室で調べもの相談の対応を行う。	通年サービス	・分室調べもの相談件数 (3,769件/R6年度)	5,000件	サービス二係(分室) 北島
	パスファインダーの作成	特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた「パスファインダー」を作成し、ホームページで掲載や館内配布を行う。	通年サービス	・パスファインダー提供数 (8点/R6年度)	8点	サービス二係 宮地
	リクエストサービス	市立図書館で所蔵していない資料の購入の要望ができるサービスを行う。	通年サービス	・「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度 (91.4%/R7.5月調査)	91.40%	サービス二係 社本
	相互貸借サービス	市立図書館で所蔵していない資料を、他自治体等の図書館から取り寄せるサービスを行う。	通年サービス	・相互貸借(借入)点数 (1681点/R6年度)	1,812点	サービス二係・分館 宮地
	図書館資料整備事業	市民のニーズに応じた資料提供ができるよう、図書館資料の整備を行う。	通年サービス	① 「本、雑誌、新聞の充実」への利用者満足度 (91.4%/R7.5月調査) ② 「CD、DVDなど視聴覚資料の充実」への利用者満足度 (71.6%/R7.5月調査)	① 91.4% ② 71.6%	サービス二係・各分館 社本
	新聞の収集・提供	全国紙や地方紙、業界紙などを提供する。	通年サービス	・提供紙数(のべ)60紙 (本館35紙・分館25紙/R7年度)	60紙	サービス二係・各分館 折原
	雑誌の収集・提供	趣味や仕事に役立つ雑誌資料を提供する。	通年サービス	① 提供誌数(のべ) 546誌 (本館284誌・分室57誌・分館205誌/R7年度当初) ② 貸出点数 (60,864点/R6年度)	① 530誌 ※値上げによる減少 ② 60,000点	サービス二係・各分館・各分室 坂本(星)
	【本館】 全国の観光情報の収集・提供	全国の観光パンフレットを収集し、本館内で閲覧できるようにする。	通年サービス	・全国を5つの地区に分け順に観光パンフレットの収集・入替を行う。 R8は関東地方の県および市町村に依頼	関東地方の観光パンフレットの収集・入替	サービス二係 西村
	地域資料の収集・提供	佐賀の歴史や地理、地場産業や観光等、佐賀に関する地域資料を提供する。	通年サービス	※指標の設定なし (館内閲覧のため利用数の確認ができない。)	-	サービス二係・各分館 梶本
	行政情報の収集・提供	佐賀市や佐賀県等の行政情報(統計情報・各種計画・議会資料など)を提供する。	通年サービス	※指標の設定なし (館内閲覧のため利用数の確認ができない。収集点数も自治体の部署の作成状況に依存する。)	-	サービス二係・各分館 木村
	【本館】 佐賀新聞記事 デジタル化データの 閲覧サービス	明治17年の創刊号から令和5年3月までの佐賀新聞記事を提供する。	通年サービス	・利用回数 (86回/R6年度)	120回(10回/月)	サービス二係 宮地
	【本館】 商用データベースの提供	本館調べものコーナーの電子メディア閲覧用パソコンで、新聞記事や農業・法律情報などの商用データベースを館内で閲覧できるように提供する。	通年サービス	① 提供データベース数 (5件/R6年度) ② 利用回数 (33回/R6年度)	① 5件 ② 60回(5回/月)	サービス二係 宮地
	所蔵検索サービス	市立図書館や他の図書館にある資料の所蔵検索サービスを行う。	通年サービス	※指標の設定なし (レファレンスサービスに含む)	-	サービス二係・各分館・各分室 宮地
	【本館】 国立国会図書館の デジタル化資料の 閲覧サービス	国立国会図書館が所蔵する貴重書や雑誌等のデジタル化された資料を館内で閲覧できるサービスを提供する。	通年サービス	・利用回数 (0回/R6年度)	12回(1回/月)	サービス二係 宮地

事業内容	【本館】 「歴史的音源」の提供	歴史的音盤アーカイブ推進協議会がデジタル化した、1950年頃までに国内で製造されたSP盤及び金属原盤等に収録された音楽・演説等の音源を、館内で提供する。	通年サービス	・利用回数（0回/R6年度）	12回(1回/月)		サービス二係 宮地
	複写サービス	市立図書館所蔵の資料について、著作権法第31条(図書館等における複製)の範囲内で複写するサービスを提供する。	通年サービス	・複写件数（2,179件/R6年度）	2,590件		サービス二係・大規模分館 宮地
	【本館】 モバイルインターネット コーナー	調査研究等のために持ち込んだパソコンを使ってインターネットに接続できるコーナーを設置する。(有線LAN接続)	通年サービス	・利用回数（170回/R6年度） ※「LANケーブル」の貸出点数で算出。	150回		総務企画係・サービス一係 若松
	【本館】 公衆無線LANサービス	インターネット上の情報資源を調査研究に活用するため、公衆無線LANサービスを提供する。	通年サービス	① 利用者数（7,901人/R6年度） ※各月ごとのユニーク数 ② のべ利用時間（34,687時間/R6年度）	① 8,000人 ② 35,000時間		総務企画係・サービス一係 若松
	レフェラルサービス	レファレンス(調べもの相談)サービスにおいて、市立図書館の資料で回答を提供できない場合には、他機関に照会し、資料の入手や専門機関の紹介を行う。	通年サービス	※指標の設定なし (レファレンスサービスに含む)	-		サービス二係 宮地
	電子図書館システム 運用管理事業	「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、佐賀市電子図書館を運用する。小中学生をメインターゲットとする。	通年サービス	①資料貸出回数（4,582回/R6年度） ②資料閲覧回数（17,565回/R6年度） ③うち貸出手続きが不要な資料（11,257回/R6年度）	① 5,000回 ② 20,000回 ③ 13,000回		総務企画係/サービス二係 若松・宮地

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	③市民に図書館の魅力や活用方法を伝えていきます。
サービス計画に記載した具体例	○様々なメディアによる情報発信 ○来館のきっかけとなるイベントの開催
「課題」、「留意点」	・図書館の新規利用者を増やすため、未利用者をターゲットにした企画や効果的な広報のあり方を検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	ホームページによる情報発信	市立図書館のサービスについて、ホームページで情報発信する。	通年サービス	・ホームページアクセス件数 (313,738件/R6年度)	350,000件		総務企画係 豊福
	市報による情報発信	全戸配布される市報で、月に1回、市立図書館の開館時間やイベント等の情報発信を行う。	通年サービス	・掲載件数 (12回/R6年度)	12回		総務企画係 豊福
	図書館報による情報発信	イベントやお知らせ、市立図書館の紹介、おすすめの本の紹介する館報を発行して情報発信を行う。	通年サービス	・館報配布部数 (20,000部/R6年度) ※本館・分館・分室のほか、県内の公共図書館、市内の学校、本館近隣の事業所4,000戸 ※令和7年度より近隣事業所への配布中止	4,000部		総務企画係 豊福
	マスメディアを利用した情報発信	市立図書館の取り組みや活用方法を知ってもらうため、コミュニティFMへの定期出演や、マスメディアの取材による情報発信を行う。	その他事業	① マスメディアへの出演 えびすFMラジオ (11回/R6年度) ② 市政記者室投込み (8回/R6年度)	① 12回 ② 10回		総務企画係 豊福
	SNSを利用した情報発信	10代後半～20代の若者をターゲットに、SNSの特性を利用して、図書館の魅力や活用方法を伝える。	その他事業	・SNSフォロワー数 (695人/R8.1.17現在)	800人		総務企画係 豊福
	【本館】 分室利用促進のためのイベントの実施	分室の利用者や普段利用しない市民に来館してもらい、利用のきっかけとなるイベントを開催する。	イベント	・イベント参加人数 (3,429人/R6年度)	3,500人		サービス係 北島
	【本館】 除籍資料の市民への配布	本館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 参加人数 769人 (R6.5: 410人、R6.11: 359人) ② 除籍本の譲渡冊数 15,529点 (R6.5: 4,276点、R6.11: 4,365点、R7.3: 5,888点)	① - ② 10,000冊		サービス係 内山

事業内容	【本館】 図書館秋のコンサート	気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、クラシックやアニメ音楽等による演奏会を開催する。	イベント	・イベント参加人数（56名/R7年度）	60名		総務企画係 豊福
	【本館】 落語会	気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、落語会を開催する。	イベント	・イベント参加人数（38名/R7年度）	50名		総務企画係 豊福
	【本館】 ブーカスマつりの開催	自動車図書館の利用が減少する夏休みや冬季に、貸出点数に応じたオリジナルグッズを配り、PRと利用促進を図る。	イベント	① 利用者数（165人/R7.7～8月, R7.12月） ② 貸出点数（818点/R7.7～8月, R7.12月）	① 利用者数/200人 ② 貸出点数/1,000点		総務企画係 豊福
	【本館】 図書館音楽フェス	図書館を普段利用しない若い世代が気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、楽器を演奏できる場を提供する。また、県立盲学校の生徒による演奏会も同時開催する。	イベント	・出演者数（6組/R7年度）	8組		総務企画係 豊福
	【本館】 図書館記念講演会	開館30周年記念に本館のリニューアルを見据え、市民と共に「これからの図書館の在り方」を考える機会とする講演会を開催する。	イベント	・新規事業	60名		総務企画係 豊福
	【本館】 図書館記念ワークショップ・展示会	折り紙飛行機ワークショップで30機の紙飛行機を飛ばして30周年をPRする。紙飛行機に関する展示会も開催する。	イベント	・新規事業	30名(ワークショップ)		総務企画係 豊福
	【本館】 自動車図書館記念撮影会	自動車図書館を本館東正面玄関前の広場に駐車して、車内の様子や撮影会、またゲームなどを楽しんでもらう。	イベント	・新規事業	50名		総務企画係 豊福
	【大和館】 大和館まつり (秋の読書週間イベント)	①雑誌付録プレゼント:定期購読している雑誌の付録を抽選で利用者に提供する。 ②ブックリサイクル:大和館で除籍した図書・雑誌を利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 応募数 1,086枚 ② 参加人数 504人	① 応募数 1,000枚 ② 参加人数 650人		大和館 野中・藤木・堤・斎藤・大坪
	【大和館】 図書館で脳トレ(ボードゲーム)	老若男女が楽しめるボードゲームを使用してゲームを行う。	イベント	・参加人数（3人/R7年度）	10人(5人×2組)		大和館 堤・山口・野中
	【大和館】 おすすめ本 POPを書こう	おすすめ本を記入してもらって掲示する。館内に資料があれば一緒に掲示する。	イベント	・新規事業	50人		大和館 大坪・斎藤
	【諸富館】 夏のイベント	楽しみ親しんでもらえるような内容の夏のイベントを行う。	イベント	・新規事業	200人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【諸富館】 新春運だめしくじびき (雑誌ふるくプレゼント)	本(雑誌を含む。代理・延長貸出/CD/DVD/マンガは除く。)を5冊以上借りたらくじを1回ひく。当たりが出たら雑誌付録などのプレゼントを渡す。後日再チャレンジ可。	イベント	・参加人数（86人/R7年度）	100人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【諸富館】 ブックリサイクル	諸富館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	・譲渡数 2,729冊 (1回目:1,113冊/R6.6、2回目:1,616冊/R6.12)	2,000点		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【東与賀館】 ブックリサイクル	東与賀館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	①-1 除籍(図書)資料の譲渡数(1,112点/R6.11) ②-1 図書リサイクル参加人数(249人/R6.11) ①-2 除籍(雑誌)資料の譲渡数(627点/R6.1～2) ②-2 雑誌リサイクル参加人数(137人/R6.1～2)	① 2,000点 ② 400人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀

事業内容	【富士館】 夏休み子どもワークショップ	夏休み子どもたちを対象に、館内の図書資料を参考とした工作体験及びブックトーク実施する。	イベント	・参加人数（9人/R6年度）	10人		富士館 詫間、岡本、野中、尾崎
	【富士館】 夏の抽選会	資料を借りた利用者にくじを引かせる。 (R7からハズレなしに変更)	イベント	・くじ引き参加人数（延べ231人/R6年度）	150人		富士館 詫間、岡本、野中、尾崎
	【富士館】 ほんの森の秋まつり2026 (秋の読書週間)	秋の読書週間にあわせて、資料を借りた利用者プレゼントや除籍本を配布する。	イベント	①ブックリサイクル（1,033点/R6年度） ②参加人数（158人/R6年度）	①1,000点 ②100人		富士館 詫間、岡本、野中、尾崎
	【富士館】 冬の抽選会	資料を借りた利用者にくじを引かせる。 (R7からハズレなしに変更)	イベント	・くじ引き参加人数（延べ194人/R6年度）	100人		富士館 詫間、岡本、野中、尾崎
	【三瀬館】 秋の読書週間イベント2026 (秋の読書週間)	秋の読書週間に次のイベントを行う。 ①利用者のおすすめ本紹介 ②雑誌付録プレゼント ③リサイクルブックコーナー	イベント	・参加人数（①13人 ②43人 ③70人 /R6年度）	①30人 ②60人 ③80人		三瀬館 北古賀、石橋、中島
	【川副館】 夏休みスタンプラリー	貸出時にスタンプを押し、集めたスタンプの数に応じてプレゼントを渡す。	イベント	・スタンプラリーの台紙配布数（111点/R7年度）	120枚		川副館 西・古賀・横溝
	【川副館】 読書くじ (秋の読書週間イベント)	秋の読書週間にあわせて、資料を借りた利用者にくじを引かせる。	イベント	・参加人数（167人/R6年度）	200人		川副館 西・古賀・横溝
	【川副館】 ブックリサイクル	川副館の除籍した図書・雑誌を、利用者無償で譲渡する。	イベント	・譲渡数（529冊/R6年度）	600冊		川副館 西・古賀・横溝
	【久保田館】 新春イベント	新年の始まりに、来館した利用者へ、くぼたくじ(おみくじ)を引いてもらい、景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（99人/R6年度）	100人		久保田館 小松・内田・戸谷
	【久保田館】 秋の読書週間イベント	秋の読書週間に、貸出数によって台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（112人/R6年度）	120人		久保田館 小松・内田・戸谷
	【久保田館】 ブックリサイクル	久保田館の除籍した図書・雑誌を、利用者無償で譲渡する。	イベント	①譲渡数（44点/R6年度） ②参加人数（20人/R6年度）	①50点 ②25人		久保田館 小松・内田・戸谷
	【久保田館】 春イベント	春休みに合わせて実施。課題を達成する毎に台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（105人/R6年度）	110人		久保田館 小松・内田・戸谷

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	①個人の自由な学びや地域づくりに役立つ図書館
方向性	④市民の知的好奇心を刺激する取組を行います。
サービス計画に記載した具体例	○資料の展示・ポスターやチラシの掲示 ○市民向け講座等の開催 ○レファレンス事例の公開(「レファレンス協同データベース」への事例登録)
「課題」、「留意点」	・市民が生涯学習などの学習成果を活用する機会を提供するための取組を検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	【本館】 資料のテーマ展示	時事に併せたテーマを設定し、 図書館資料の展示を行う	通年サービス	・展示回数 171回 (一係:36回/R6年度) (二係:135回/R6年度)	170回		サービス一係・サービス二係 吉本・宮地
	【本館】 郷土資料展示	郷土の人物や事柄に関する 資料の展示を行う	通年サービス	・展示回数 (6回/R6年度)	6回		サービス二係 宮地
	【本館】 「レファレンス協同データベース」への事例登録	市立図書館のレファレンス事例を、 国立国会図書館が運営する 「レファレンス協同データベース」に 登録する	通年サービス	・事例登録総数 (688件/R6年度末)	750件		サービス二係 宮地
	【本館】 「季節の棚」の展示	その季節に応じた図書館資料や パンフレットなどの展示を行う。	通年サービス	・展示回数 (24回/R6年度)	24回		総務企画係 豊福
	【本館】 イベント等のポスター掲示や チラシの配布	他団体イベント等のポスター掲示や チラシの配布	通年サービス	・ポスター・チラシ受付件数 (1,350件/R6年度) ※受付簿記入分	1,500件		総務企画係 豊福
	【本館】 学習成果を発表する機会の 提供の検討	生涯学習などの学習成果を発表する 機会を提供する取組の検討を行う	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係・サービス二係 豊福、宮地
	佐賀大学地域連携型 公開講座の開催	郷土史に興味を持ってもらうため、また 興味を持つ人の知的欲求を満たすため、 佐賀大学から講師を招いて地域学講座を 開催する	イベント	① 講座開催回数 (3回/R6年度) ② 参加者の満足度 (92%/R6年度)	① 3回 ② 92%		サービス二係 梶本

事業内容	【本館】 図書館職員おすすめの本の展示	来館者が多様な資料に興味を持つきっかけづくりのため、図書館職員がすすめる本の展示を行う。	イベント	・展示資料数（50点/R7年度） ※おすすめ本が貸出に出た場合は、同一分野の本や同一作家の別の作品などの関連資料を展示する。	50点		総務企画係 豊福
	【本館】 市民おすすめの本の展示	読んで心を打たれた本、楽しかった本、怖かった本などの紹介カードを市民に作成してもらい、展示する。	イベント	・新規事業	50点		総務企画係 豊福
	【大和館】 七夕笹飾り展示	館内に組み立て式の笹を2か所設置。利用者が七夕飾りや願いごとを短冊に書き、飾る。	イベント	・参加人数（369人/R7年度）	400人		大和館 野中、山口
	【大和館】 大人向け映画上映会	気軽に図書館へ来館するきっかけとすることを目的に、大人向けに大和館所蔵のDVD(上映権付)を上映する。	イベント	・参加人数（89人/R7年度）	100人		大和館 姉川、藤木、山口
	【諸富館】 秋の読書週間イベント (どくしょの木)	葉っぱ型の用紙に、自分がすすめる本のタイトルと感想を書いてもらい、木を模した台紙に貼り付けて紅葉させることで、普段手に取らない本を読むきっかけとする。プレゼントあり。	イベント	・参加人数（96人/R7年度）	100人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【東与賀館】 シチメンソウ及びラムサール条約関係資料展示	東よか干潟に関連した資料(シチメンソウやラムサール条約関係)を展示する。(10月上旬～11月下旬)	イベント	・展示回数（1回/R6年度）	1回		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【東与賀館】 新春イベント	新春イベントとして「福引き」を実施する。	イベント	・参加人数（108人/R6年度）	120人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【東与賀館】 秋の読書週間イベント	館内に掲示するお題を記したポスターに、シールを貼ってもらい、「どちら派か」の投票を行う。参加者には、手づくりの品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（37人/R6年度）	200人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【三瀬館】 七夕笹飾り展示	入口に本物の笹を設置。利用者が七夕飾りや願いごとを短冊に記入し飾る。また、関連本を展示し、日本古来の伝統に興味関心を抱くきっかけをつくる。	イベント	・参加人数（62人/R6年度）	80人		三瀬館 北古賀、石橋、中島

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	①子どもと保護者が一緒に読書に親しめる環境をつくります。
サービス計画に記載した具体例	○子どもと保護者が一緒に利用しやすいサービスの提供 ○子どもと保護者が一緒に楽しめるおはなし会の開催 ○乳幼児と保護者が一緒に本に親しむための取組
「課題」、「留意点」	・子どもの利用を促進するためには、保護者への情報提供が重要になってくる。そのための対策に取り組む必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	【本館】 児童コーナー及び 児童カウンターの運営	子ども向けの資料やおはなしの部屋、 子どもトイレなどを備えた児童コーナーを 運営する。また、児童サービスに精通した 職員が常駐する児童カウンターを 児童コーナー内に設置する。	通年サービス	① 旧佐賀市の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (32.3%/R6年度末) ② 旧佐賀市の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (7.6点/R6年度) ③ 本館の児童サービス利用満足度 (95.7%/R7年5月調査)	① 33.0% ② 7.8点 ③ 95.7%		サービス二係 原口
	【大和館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 大和町の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (33.3%/R6年度末) ② 大和町の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (7.1点/R6年度) ③ 大和館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (97.0%/R7年5月調査)	① 34.0% ② 7.3点 ③ 97.0%		大和館 宮崎
	【諸富館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 諸富町の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (35.1%/R6年度末) ② 諸富町の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (6.0点/R6年度) ③ 諸富館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R7年5月調査)	① 35.5% ② 6.2点 ③ 100%		諸富館 大塚
	【東与賀館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 東与賀町の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (44.9%/R6年度末) ② 東与賀町の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.8点/R6年度) ③ 東与賀館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R7年5月調査)	① 45.0% ② 6.0点 ③ 100%		東与賀館 江頭

事業内容	【富士館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 富士町の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (67.7%/R6年度末) ② 富士町の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (12.4点/R6年度) ③ 富士館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (97.4%/R7年5月調査)	① 68.0% ② 12.6点 ③ 97.4%	富士館 詫間
	【三瀬館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 三瀬村の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (76.5%/R6年度末) ② 三瀬村の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (12.6点/R6年度) ③ 三瀬館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R7年5月調査)	① 76.5% ② 12.8点 ③ 100%	三瀬館 詫間
	【川副館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 川副町の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (26.4%/R6年度末) ② 川副町の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (3.8点/R6年度) ③ 川副館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (90.9%/R7年5月調査)	① 26.5% ② 4.0点 ③ 100%	川副館 大塚
	【久保田館】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	① 久保田町の子ども(0~18歳)の利用登録割合 (37.6%/R6年度末) ② 久保田町の子ども(0~18歳)のひとりあたり貸出点数 (5.3点/R6年度) ③ 久保田館の「子どもや保護者の利用のしやすさ」 (100%/R7年5月調査)	① 38.0% ② 5.5点 ③ 100%	久保田館 江頭
	【各分室】 子ども向けサービスの提供	各分館・分室の状況に応じた 子ども向けサービスを提供する。	通年サービス	・分室の児童書貸出点数 (86,017点/R5年度)	90,300点	サービス一係(分室) 北島
	【本館】 3歳児以降を対象にした 定例おはなし会の開催 ※年齢はめやす	児童コーナー内のおはなしのへやで、 おはなしボランティアによるおはなし会を 定例で開催する。 (毎月第3木曜、毎週土曜日)	通年サービス	① 実施回数 (61回/R6年度) ② 参加人数 (874人/R6年度)	① 62回 ② 900人	サービス二係 原口
	【本館】 小学生向けの 定例おはなし会の開催	毎月第1土曜日に、児童コーナーの おはなしのへやでボランティア団体 「すばなしの会」による「小学生からの おはなし会(すばなし)」を開催する。	通年サービス	① 実施回数 (10回/R6年度) ② 参加人数 (84人/R6年度)	① 11回 ② 108人	サービス二係 原口
	【本館】 赤ちゃん向けの 定例おはなし会の開催	児童コーナーのおはなしのへやで、 司書による赤ちゃん向けのおはなし会を 定例で開催する。	通年サービス	① 実施回数 (37回/R6年度) ② 参加人数 (729人/R6年度)	① 37回 ② 790人	サービス二係 原口
	【大和館】 定例おはなし会	毎月第2・4水曜日11時に司書が、 毎月第1・2・3土曜日11時に ボランティア団体がおはなし会を行う。	通年サービス	・参加人数 (272人/R7年度(4月~12月))	340人	大和館 野中・藤木・姉川・ 大坪・山口・堤・斎藤
	【諸富館】 定例おはなし会	第2・4土曜日に、館内の「おはなしのへや」 でおはなし会を開催する。「おはなし 連絡会morodomi」と協働で運営を行う。	通年サービス	・参加人数 (89人/R6年度)	100人	諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【東与賀館】 定例おはなし会の開催	毎月第2・4土曜日に、館内のおはなしの 部屋でおはなし会を行う。 おはなし会は、おはなしボランティア 「おおきなかぶ」と司書が協働で行う。	通年サービス	・参加人数 (216人/R6年度)	230人	東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【富士館】 えほんのもりおはなし会 (定例おはなし会)	毎月第4土曜日あるいは第2土曜日に おはなし会を行う。月ごとにボランティア と図書館司書が行う。	通年サービス	・参加人数 (32人/R6年度)	50人	富士館 詫間・野中・岡本・尾崎

事業内容	【三瀬館】 定例おはなし会	月1回第3土曜日に、三瀬公民館会議室でおはなし会を行う。 おはなし会は三瀬館司書が行う。	通年サービス	・参加人数（79人/R6年度）	70人		三瀬館 北古賀・石橋・中島
	【川副館】 出張おはなし会 (児童館ゴーゴーキッズ おはなし会)	第1火曜日(不定期)に、川副児童館でおはなし会を行う。司書が運営を行う。	通年サービス	・参加人数（28人/R6年度）	50人		川副館 西・古賀・横溝
	【本館】 赤ちゃん絵本ガイドブックの 配布	図書館各館で配布するとともに、 こども健康課が行っている乳児家庭 全戸訪問の際に配布する。	その他事業	・配布数（1,600冊/R6年度）	2,000冊		サービス二係 原口
	【大和館】 季節を感じるための飾りつけ	子ども向けに、図書館や本に関する クイズを行う。 あわせて中学生以下を対象とした、 スタンプキャンペーンも行う。	その他事業	・実施回数（12回/R6年度）	年12回		大和館 大坪
	【諸富館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕、クリスマス、ひな祭りなどに あわせて、季節を感じるができる 飾りつけを行う。 特に七夕は来館者が記入する短冊を 笹に結んでもらう参加型の行事とする。	その他事業	・実施回数（4回/R6年度）	年4回		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【東与賀館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスにあわせて、来館者が 季節を感じるような飾りつけを行う。	その他事業	・実施回数（4回/R6年度）	4回		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【久保田館】 季節を感じるための飾りつけ	七夕やクリスマスにあわせて、来館者が 季節を感じるような飾りつけを行う。	その他事業	・実施回数（4回/R6年度）	4回		久保田館 小松・内田・戸谷
	【本館】 冬のあったかおはなし会	子どもと保護者が一緒に楽しむことが できる、冬のあったかおはなし会を おはなしボランティアと協働で実施する。	イベント	① 実施回数（1回/R7年度） ② 参加人数（35人/R7年度）	① 1回 ② 70人		サービス二係 原口・内山
	【大和館】 おはなしだいすきSP	夏休みに手遊びなどを交えた おはなし会を開催する。	イベント	・参加人数（62人/R7年度）	62人		大和館 野中・斎藤・大坪・ 堤・山口
	【大和館】 こども映画上映会	三瀬小学校と共同で実施。 ブックポストや閉架書庫など、普段は 入れない場所を見学し、質問に答える。 また、おはなし会やイベントの案内を行う。	イベント	・参加人数（42人/R7年度）	65人		大和館 野中・藤木・大坪
	【大和館】 春の大きなおはなし会 (ボランティアとの共同開催)	ボランティアグループとの共催で、 手遊びや大型絵本などを交えた 規模を拡大したおはなし会を開催する。	イベント	・参加人数（52人/R6年度）	52人		大和館 大坪・姉川・藤木
	【諸富館】 こども読書週間イベント (すごろくゲーム)	本を5冊以上借りた子どもに、 すごろく型のゲームに参加してもらう。	イベント	・参加人数（86人/R7年度）	100人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【諸富館】 おはなしの素 (夏のおはなし会)	ボランティア団体「おはなし連絡会 morodomi」と協働で、紙芝居や大型絵本、 手遊び等を使っておはなし会を行う。 参加者にはプレゼントを準備する。	イベント	・参加人数（31人/R6年度）	50人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾

事業内容	【諸富館】 ぼかぼかふゆのおはなし会	クリスマスの近い時期に行うおはなし会。 ハンドベルを使ったり、サンタクロースが プレゼントを配る。	イベント	・参加人数（31人/R7年度）	50人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【諸富館】 おでかけおはなし会	諸富館のPR及び利用促進を図るために、 保育園など、各種施設に出向き、 おはなし会や読み聞かせ等を実施する。	イベント	・参加人数(183人/R6年度)	180人		諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【東与賀館】 夏の特別おはなし会	夏休み期間中に、おはなしボランティア 「おおきなかぶ」と協働で、乳幼児や 保護者に読み聞かせ等を行う。	イベント	・参加人数（13人/R6年度）	30人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【東与賀館】 春の特別おはなし会	春(3月)に、おはなしボランティア 「おおきなかぶ」と協働で、乳幼児や 保護者に読み聞かせ等を行う。	イベント	・参加人数（21人/R6年度）	30人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【東与賀館】 こども読書週間イベント	専用カードを期間中に配布。貸出しの際に スタンプを押し、その数に応じて図書館に ちなんだ景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（52人/R6年度）	70人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【富士館】 夏の大おはなし会	ボランティア団体「おはなしのもり」と協働で、 読み語り、ブックトーク、工作などを行う。	イベント	・参加人数（6人/R6年度）	10人		富士館 詫間・尾崎・野中・岡本
	【富士館】 冬の大おはなし会	ボランティア団体「おはなしのもり」と協働で、 読み語り、ブックトーク、工作などを行う。	イベント	・参加人数（5人/R6年度）	10人		富士館 詫間・尾崎・野中・岡本
	【久保田館】 夏のおはなし会	夏休み期間中におはなし会を開催する。 絵本・紙芝居・パネルシアターなどの 読み聞かせ、手遊び、工作など。おはなし ボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。	イベント	・参加人数（17人/R6年度）	30人		久保田館 小松・内田・戸谷
	【久保田館】 クリスマスイベント	クリスマスに合わせ、イベント期間中に アドベントカレンダーのミッションに基づき、 本を借りた方に手づくりのクリスマス オーナメントをプレゼントする。	イベント	・参加人数（203人/R6年度）	200人		久保田館 小松・内田・戸谷
	【久保田館】 冬のおはなし会	1～2月中におはなし会を開催する。 絵本・紙芝居・パネルシアターなどの 読み聞かせ、手遊び、工作など。おはなし ボランティア「ぐりとぐら」と協働で行う。	イベント	・参加人数（26人/R6年度）	30人		久保田館 小松・内田・戸谷

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	②子どもが読書に親しむとともに、情報リテラシーを身につけるためのサービスを提供します。
サービス計画に記載した具体例	○子どもが新たな知識や本と出会うための取組 ○子どもが図書館や本への興味を持つきっかけづくり ○子どもが情報リテラシーを身につけるための取組 ○郷土に関する調べ学習を支援する取組
「課題」、「留意点」	・電子図書館システムの導入に伴い、子どもたちへログイン方法なども含めたPRが必要である。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	【本館】 おすすめの本小冊子	小学校低学年・中学年・高学年、及び中学生向けに、それぞれを対象とした「おすすめ本」の冊子を、夏休みと冬休みに合わせ年2回作成する。 市立図書館や児童館で配布する。	通年サービス	・作成回数（2回/R6年度）	2回		サービス二係 原口
	【本館】 おすすめの本・課題図書 の展示	本館児童コーナーでおすすめ本や学校の課題図書等の展示を行う。	通年サービス	①季節のおすすめの本展示回数（90回/R6年度） ②課題図書展示回数（2回/R6年度）	① 100回 ② 2回		サービス二係 原口
	【本館】 ヤングコーナーの運営	子どもから大人への転換期にある中高生を対象とした資料の展示を行うヤングコーナーを運営する	通年サービス	・「おすすめの本紹介」作成回数（4回/R7年度）	4回		サービス二係 原口
	【本館】 外国語の絵本の収集・提供	日本語を母国語としない子どもや、多様な言語に親しみたい子どもたちのために、多言語の絵本の収集・提供を行う。	通年サービス	・資料点数（1749点/R7.12月末）	1,759点		サービス二係 原口
	【本館】 図書館への手紙(児童)	本館児童コーナーに「図書館への手紙」を送ることができるポストを設置し、手紙と児童コーナー職員からの返事を児童コーナー内で閲覧できるようにする。	通年サービス	※指標の設定なし	-		サービス二係 原口
	【本館】 郷土に関する文献・ 情報の調べ方の案内	郷土に関するパスファインダー(特定のテーマに関する文献、情報の探し方や調べ方の案内をまとめた)を学校に紹介するなど、調べ学習に役立つ情報を提供する。	その他事業	・パスファインダー作成及び提供数（12点/R6年度末） ※子どもを対象とした郷土に関する本のリストを作成し、パスファインダーを作成する。(R3年度～)	12点		サービス二係・各分館 宮地

事業内容	電子図書館システム運用管理事業 ※再掲	「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、佐賀市電子図書館を運用する。小中学生をメインターゲットとする。	周年サービス	①資料貸出回数 (4,582回/R6年度) ②資料閲覧回数 (17,565回/R6年度) ③うち貸出手続きが不要な資料 (11,257回/R6年度)	① 5,000回 ② 20,000回 ③ 13,000回	総務企画係/サービス二係	若松・陣内
	【本館】図書館見学・職場体験の受け入れ	図書館見学や職場体験の受け入れを積極的に実施する。司書資格の取得を目指す生徒には、資格の取得方法等についてもアドバイスを行う。	その他事業	・指標の設定なし(学校等の都合による) 【参考】 ① 見学受入数 (3件/R7年度) ② 職場体験受入数 (5名/R7年度)	-	総務企画係	豊福
	【本館】「こどもの読書週間 ポップバルーンをとばそう!」	利用者の声を取り入れ、情報の双方向性を深めるために、「ポップ」による絵本や読み物の紹介を利用者から募る。	イベント	・イベント参加人数 (132人/R7年度)	320人	サービス二係	原口
	【本館】子ども司書講座	小中学生を対象とした「子ども司書講座」を開催する。	イベント	① 講座開催回数 (3回連続/R7実績) ② 参加人数 (1人/R7実績)	① 3回連続 ② 10人(定員)	サービス二係	原口・陣内
	【本館】手づくり絵本教室/作品展	教室:専門の講師による手作りの絵本を作成する体験教室を行う。 作品展:手づくり絵本作品の募集・展示を行い、一部の作品を電子図書館で公開する。	イベント	① 教室開催回数 (3回/R7年度) ② 教室参加人数 (30人/R7年度)実参加人数 ③ 作品展応募人数 (13人/R7年度)	① 3回 ② 30人(定員) ③ 20人	サービス二係	原口
	【本館】調べる学習小学生講座/コンクール	小学生を対象に、図書館を使った調べる学習を体験してもらう講座を開催する。また、「図書館を使った調べる学習コンクール」の地域コンクールを開催し、優秀作品を全国コンクールへ推薦する。	イベント	① 講座参加人数 (20人/R7年度) ② コンクール応募数 (19作品/R6年度)	① 20人(定員) ② 50作品	サービス二係	レファ担当・児童担当
	【本館】「みんなで読もう! オススメ本」	県内の著名人が推薦する児童書や絵本と推薦文を展示する。	イベント	展示月(3-4月)の本館児童書(雑誌含む)貸出点数: 45,552点 (R7年3-4月)	50,000点	サービス二係	原口
	【本館】図書館たんけん隊	小学生を対象にした館内見学ツアーを開催する。	イベント	・参加人数 (5人/R7年度 ※同伴者含)	5人	総務企画係	豊福
	【本館】一日こども図書館長	こどもの読書週間をPRするため、近隣の小学校に通う児童に一日図書館長を体験してもらう。また、マスメディアに情報提供を行い、取材活動を促す。	イベント	・兵庫小学校 (2人/R7年度)	2人	総務企画係	豊福
	【本館】夏休み理科自由研究の支援「君を助け隊」の開催	小中学生を対象に、夏休みの自由研究の目的やテーマの決め方、調査方法やまとめ方などについて、専門の講師を招いて個別指導を行う。	イベント	① ポイント編 (8人/R7年度) ② まとめ編 (6人/R7年度) ※同伴者含まず	20人 ※R8年度は1回開催	総務企画係	豊福
	【大和館】こどもの読書週間イベント「図書館で九州一周ゲーム」	本を借りて、サイコロをふる。サイコロの出た数でマスを進み、ゴールを目指す。参加者にはプレゼントがある。	イベント	・参加人数 (235人/R7年度)	235人	大和館	姉川・藤木・堤・斎藤
	【大和館】夏休み小学生司書のお仕事体験	夏休み期間中の小学生に、貸出や返却などのカウンター業務や、書架整理など、司書の仕事を体験してもらう。	イベント	・参加人数 (4人/R7年度)	4人	大和館	姉川・山口・斎藤
	【諸富館】図書館お仕事体験	夏休み期間中の小学生に、図書館の仕事やおはなし会を体験してもらう。	イベント	・参加人数 (4人/R6年度)	3人	諸富館	駄原・藤田・戸田・松尾

【東与賀館】 夏休みイベント	夏休み期間中の子どもを対象としたスタンプラリーを実施する。押印数に応じてプレゼントを配布する。	イベント	・参加人数（186人/R6年度）	200人		東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
【富士館】 わくわくスタンプチャレンジ	本の貸出(1日1回まで)につき、スタンプを押し、押印数に応じてプレゼントを配布。(通年イベント) 読書週間は押印数2倍のキャンペーンを実施。対象は中学生以下。	イベント	・配布枚数（100枚/R6年度）	100人		富士館 詫間・尾崎・野中・岡本
【富士館】 ほんの森の春まつり (こどもの読書週間)	子ども向けに、図書館や本に関するクイズを行う。 イベント期間中は中学生以下を対象に、「わくわくスタンプ ダブルスタンプ キャンペーン」も行う。	イベント	・参加人数（41人/R6年度）	50人		富士館 詫間・尾崎・野中・岡本
【富士館】 図書館オリエンテーション	富士校小学部と共同で実施。 学校に出向き、全学年の児童に向けて市立図書館の使い方やブックトーク、おすすめの本を紹介する。	イベント	・参加人数（71人/R6年度）	80人		富士館 詫間・尾崎・野中・岡本
【富士館】 図書館見学	富士校、北山校、北山東部小学校と共同で、2年生を対象に実施する。 館内見学、ブックポスト、児童からの図書館に関する質問に答える。 また、おはなし会やイベントの案内を行う。	イベント	① 参加人数（19人/R6年度） ② 富士町在住の7～9歳の利用登録率（66.7%/R6年度末）	① 12人 ② 66.7%		富士館 詫間・尾崎・野中・岡本
【川副館】 こどもの読書週間イベント 「はるのはなまつり」	読書に関する項目のビンゴカード用意し、貸出本に対してスタンプを押印。ビンゴのそろった列数に応じて景品をプレゼント。	イベント	・参加人数（19人/R7年度）	30人		川副館 西・古賀・横溝
【三瀬館】 こどもの読書週間イベント 「本を借りてプレゼントをもらおう」	こどもの読書週間に合わせてイベントを実施する。	イベント	・参加人数（73人/R6年度）	80人		三瀬館 北古賀・石橋・中島
【三瀬館】 夏読書がんばりカード	三瀬小学校と連携し、図書館利用促進の取り組みや、貸出毎にシールを貼る台紙を配布する。シールを多く集めた子は学校で表彰。三瀬小以外の参加者は図書館で表彰する。	イベント	・参加人数（59人/R6年度）	50人		三瀬館 北古賀・石橋・中島
【三瀬館】 図書館見学	三瀬小学校と共同で実施。 ブックポストや閉架書庫など、普段は入れない場所を見学し、質問に答える。 また、おはなし会やイベントの案内を行う。	イベント	① 参加人数（44人/R6年度） ② 三瀬村在住の7～9歳の利用登録率（100%/R6年度末）	① 2年生10人 ② 100%		三瀬館 北古賀・石橋・中島
【久保田館】 夏休みイベント	夏休みに実施。 課題の達成毎に台紙にシールを貼り、その数に応じて景品をプレゼントする。	イベント	・参加人数（123人/R6年度）	130人		久保田館 小松・内田・戸谷
【久保田館】 こどもの読書週間イベント	4月下旬～5月中旬。こどもの読書週間に合わせて、おすすめの本の紹介POPを作成してもらい、館内に掲示。POPを作成した子どもにはプレゼントを配布する。	イベント	・参加人数（84人/R6年度）	90人		久保田館 小松・内田・戸谷

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	②子どもの成長に役立つ図書館
方向性	③子どもの読書活動推進を行う団体を支援します。
サービス計画に記載した具体例	○資料の団体貸出や除籍資料の配布 ○読書や読み語りに関する情報提供や相談受付 ○読み語りボランティア活動の支援
「課題」、「留意点」	・子どもにとって一番身近な図書館である学校図書館について、電子図書館システムの活用も含め、団体貸出に留まらない支援のあり方や情報交換の機会について検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	【本館】 団体貸出サービス(学校団体)	佐賀市内の市立小中学校を対象に団体貸出を行う。	通年サービス	① 年間利用学校団体数 (51団体/R6年度) ② 学校団体への年間貸出点数 (10,132点/R6年度)	① 51団体 ② 12,000点		総務企画係・各分館・各分室 豊福
	【本館】 おはなし会用資料の貸出	大型紙芝居やパネルシアターなど、おはなし会用の資料の貸出を行う。	通年サービス	・貸出点数 (86点/R6年度)	115点		サービス二係 原口
	【本館】 除籍資料の配布 (市立小中学校・市関連施設)	図書館本館で除籍した図書や雑誌を、市立の小中学校や、保育所、児童館等、市の子どもの育成に関連する施設に配布を行う。	通年サービス	① 小中学校への配布数 (2,452点/R6年度) ② 児童館等への配布数 (429点/R6年度) ※一係対応分のみ	① 2,500点 ② 450点		サービス一係 内山
	【本館】 保育園・幼稚園・認定こども園等への情報提供や相談受付	佐賀市立図書館や読み語りに関する情報提供を行うとともに、読み語り等に関する相談に対しアドバイスを行う	通年サービス	※指標の設定なし	-		サービス二係 原口
	【本館】 読み語り講座の開催	子育て中の人や読み語りに興味のある人、ボランティア活動をする人が、読み語りの必要性や基礎知識、技術等を学ぶ	イベント	① 開催回数 (2回/R7年度) ② 受講人数 (延べ36人/R7年度)	① 2回 ② 40人		サービス二係 内山・廣重

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	③多様な人々が集う図書館
方向性	①市民のサードプレイスとして、誰もが利用しやすい場所を提供します。
サービス計画に記載した具体例	○わかりやすい案内サービス ○多様なスペースの提供 ○安心して使用できる居心地のいい空間の提供
「課題」、「留意点」	・市民が利用しやすいスペースを提供するためには、大規模改修計画と合わせて進めていく必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	わかりやすい案内表示	館内の案内表示で、老朽化したものやわかりづらいものは、随時更新する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・各分館・分室 豊福
	閲覧スペースの設置	各館に利用者が自由に読者や調べものなどができる閲覧スペースを設置する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係・各分館 若松
	【本館】 ギャラリー/多目的ホール等の貸出	講演会や発表会、コンサート等で利用できるよう、市内で活動する団体向けに本館施設の一部を貸出する。	通年サービス	・施設使用件数(241件/R6年度) (多目的ホール 65件、大集会室 103件、和室 36件、 研修室 1件、中央・ロビーギャラリー 36件)	250件		総務企画係 豊福
	【本館、大和館】 学習室の設置	本館及び大和館に学習室を設置する。	通年サービス	・利用人数(本館)(10,955人/R6年度) ※本館は学習室 26席、フリー学習コーナー 20席 ※大和館は学習室 31席。利用者数はカウントしていない。	12,000人		総務企画係・大和館 豊福・宮崎
	【本館】 喫茶室の設置	本館利用者の食事や休憩などに利用できるよう、喫茶室を設置する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係 若松
	【本館】 屋外読書スペースの設置	飲食や休憩、読書など多目的で利用できる屋外読書スペースを設置。椅子や机は、劣化状況を確認しながら入替を検討する。	通年サービス	※指標の設定なし	-	-	総務企画係 若松
事業内容	【本館】 施設の定期点検・修繕	休館日を利用して施設の定期点検を行う。修繕を要す箇所は随時、修繕を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係 若松
	【本館】 施設の定期清掃	施設内の清掃を毎日行う。大規模な清掃は休館日を利用して実施する。	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係 若松
	【本館】 施設の警備	開館時は警備員を常駐させて警備を行う。夜間や閉館日は機械警備を実施する。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係 若松

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	③多様な人々が集う図書館
方向性	②日本語を母国語としない人や図書館の利用に障がいがある人でも、資料や情報にアクセスできるようにします。
サービス計画に記載した具体例	○日本語を母国語としない人へのサービス ○障がいにより図書館の利用や読書が困難な人へのサービス ○高齢者を対象としたサービス
「課題」、「留意点」	・市内在住者の母国語の傾向や日常の情報行動を調査し、今後の外国語資料のあり方を検討する必要がある。 ・佐賀県立視覚障害者情報・交流センター“あい さが”(旧 佐賀県立点字図書館)などと連携しながら、視覚障がい、発達障がい、肢体不自由などの障がいによって読書が困難な人々に対するサービスのあり方を再検討する必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の概要	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	【本館】 ハンディキャップサービス コーナーの運営	本館ハンディキャップサービスコーナーの運営を行う。	通年サービス	※指標の設定なし	-		サービス係 吉本
	【本館】 郵送・宅配サービスの実施	視覚障がいや身体が不自由などのため来館が困難、かつ家族の支援が受けられない市民を対象に、無料で郵送・宅配による貸出を行う。	通年サービス	① 郵送利用 (3人, 16回/R6年度) ② 宅配利用 (7人, 89回/R6年度)	① 3人,16回 ② 7人,89回		サービス係 吉本
	【本館】 マルチメディアデジ図書の提供	文字や音声、画像を同時に再生できる電子書籍「マルチメディアデジ図書」の収集・提供を行う。	通年サービス	① 所蔵数 (54点/R6年度) ② 新規受入点数 (0点/R6年度)	① 57点 ② 3点		サービス係 吉本
	【本館】 対面朗読サービスの実施	本館ハンディキャップサービスコーナー内で、ボランティアによる対面朗読サービスを行う。	通年サービス	① サービス実施日数 (50日/R6年度) ② 利用者数 (延べ68人)	① 100日 ② 120人		サービス係 吉本
	拡大読書機・虫眼鏡・ 老眼鏡の提供	小さな文字が見えにくい方のために、拡大読書器や虫眼鏡、老眼鏡の提供を行う。	通年サービス	※指標の設定なし	-		サービス係・各分館・各分室 吉本
	大活字本の提供	小さな文字が見えにくい方のために、大活字本の収集・提供を行う。	通年サービス	① 所蔵数 (1,704点/R6年度) ② 貸出点数 (3,057点/R6年度)	① 1,750点 ② 3,500点		サービス係・各分館・各分室 吉本
	電子図書館システム 運用管理事業 ※再掲	「図書館への来館や紙の書籍の利用が難しい人へのサービスの充実」と「郷土関連資料(行政資料・郷土資料・市民の学習成果等)の整理・公開」を目的に、佐賀市電子図書館を運用する。小中学生をメインターゲットとする。	通年サービス	① 資料貸出回数 (4,582回/R6年度) ② 資料閲覧回数 (17,565回/R6年度) ③ うち貸出手続きが不要な資料 (11,257回/R6年度)	① 5,000回 ② 20,000回 ③ 13,000回		総務企画係/サービス係 若松・真子

事業内容	外国語資料の収集・提供	外国籍の方の居住実態等を参考にしながら、外国語資料の収集を行う。	その他事業	・資料点数（5,830点/R6年度末）	・5,900冊		サービス二係 西村
	【本館】 多言語でのサービス案内	館内の案内表記の多言語化に取り組む。	その他事業	※指標の設定なし	-	-	総務企画係 豊福

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	④市民と共に変革を進める図書館
方向性	①限られた経営資源のなかで、長期的な視点に立った計画的・効率的な図書館運営を行います。
サービス計画に記載した具体例	○年度事業計画の策定と管理 ○司書の確保と資質向上への取組 ○業務効率化や外部資金活用のための取組 ○図書館要覧の作成
「課題」、「留意点」	○長期的な視点での本館施設の管理 ○危機管理や業務継続性に関する取組 ○将来の図書館サービスのあり方の検討 ○環境に配慮した取組
	・目標の達成に向けて、事業計画の進捗管理や事業・体制の改善を行っていく必要がある。 ・災害時にサービスを継続させるための体制づくりを行う必要がある。 ・本館大規模改修に向けた準備を進める必要がある。

サービス・事業

	内容	サービス・事業の目的	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	年度事業計画の策定と管理	佐賀市立図書館サービス計画に基づき、年度事業計画を策定する。また、事業やサービスの進捗管理を行う。	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係 増本
	県内の公共図書館との情報交換	年度事業計画の策定や図書館サービスの参考とするため、県内の公共図書館の担当者会議に出席するなどして、県内の公共図書館との情報交換を行う。	その他事業	・担当者会議への出席回数 (0回/R7年度)	2回		総務企画係 吉田
	図書館要覧の作成	市立図書館の概要(沿革、施設、理念、事業、各種統計など)を記載した図書館要覧を毎年作成し、ホームページで公開する。	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係 吉田
	本館大規模改修事業	R5～6年度 基本構想・基本計画の策定、R6～8年度 設計業務～R10年度中 改修工事 R10年度中 完成及び開館	その他事業	・基本設計業務の完了 (R7年度) ・実施設計業務受託者の決定 (R7年度)	・実施設計業務の完了		総務企画係 増本・峰松
	図書館実習生の受入	司書資格を持つ人材を育成するため、本市出身者や市内在住者を中心に図書館実習生の受入を行う。	その他事業	※指標の設定なし(学校等の都合による) 【参考】 ・受入人数 (3人/R7年度)	-		総務企画係 豊福
	司書の資質向上のための管内全体研修の実施	年に10回程度の館内全体研修を行う。	その他事業	・実施回数 (7回/R6年度)	10回		総務企画係 吉田
	佐賀県立図書館主催の研修への参加	県立図書館及び佐賀県公共図書館協議会が主催する研修に参加する。	その他事業	① 佐賀県立図書館主催研修への参加人数 (のべ16名/R6年度) ② 佐賀県公共図書館協議会主催研修への参加人数 (のべ3名/R6年度)	① 20名(5名×4回) ② 4名(2名×2回)		総務企画係 吉田

事業内容	児童サービス研究会・レファレンスサービス研究会への参加	佐賀県公共図書館協議会が開催する「公共図書館児童サービス研究会」及び「公共図書館レファレンスサービス研究会」に担当職員が参加する。	その他事業	① 児童サービス研究会への参加人数 (のべ34名/R6年度) ② レファレンスサービス研究会への参加人数 (のべ21名/R6年度)	① 40名(10名×4回) ② 36名(9名×4回)	サービス二係・各分館
	専門職である司書の確保	司書資格を持つ優秀な人材の採用に努める。	その他事業	※指標の設定なし	-	原口・宮地
	消防・水防訓練の実施	火災等に備えて、消防訓練等を年に1回以上実施する。	その他事業	① 消防訓練の実施回数 (1回/R6年度) ② 水防訓練の実施回数 (1回/R6年度)※止水板設置	年1回 ※消防訓練に加えて、 水防訓練を実施する。	総務企画係
	図書館情報ネットワークシステムの安定的な運用と次の更新に向けた準備	業務システムの安定的な運用を継続するとともに、電算システムの更新を行う。	その他事業	・大規模な障害発生回数 (0回/R6年度)	1回以内	吉田
	佐賀市スーパーアプリとの連携	佐賀市スーパーアプリと連携し、デジタル利用カードやシングルサインオンによるアプリでのワンストップサービスを実施する。	その他事業	※指標の設定なし	-	総務企画係
	雑誌スポンサー制度の運用	雑誌スポンサー制度を運用し、財源を確保する。	その他事業	・スポンサーの状況 (4誌, 2者/R7年度)	5誌	若松
	全国の先進図書館の事例収集や有識者による講座への参加	全国図書館大会や全国公共図書館研究会への参加等により、全国の先進図書館の事例や最新の研究について情報収集を行う。	その他事業	① 全国図書館大会への参加人数 (0人/R6年度) ② 全国公共図書館研究会への参加人数 (0人/R6年度)	① 1人 ② 1人 ※リモート参加を予定	総務企画係
	太陽光パネルによる自家発電の実施	本館屋上に設置した太陽光パネルで自家発電した電気を施設の運用に利用する。	その他事業	※指標の設定なし 【参考】 ・平均発電量 2,538kwh/月 (R6年度)	-	吉田
	【本館】資料のリユース(団体への頒布)	除籍資料を、市立小中学校、市有施設、市内の各種団体に対して頒布する。	その他事業	・各種団体への提供回数 (3回/R6年度)	3回	総務企画係
	【本館】除籍資料の市民への配布※再掲	本館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 参加人数 769人 (R6.5: 410人、R6.11: 359人) ② 除籍本の譲渡冊数 15,529点 (R6.5: 4,276点、R6.11: 4,365点、R7.3: 5,888点)	① - ② 10,000冊	サービス一係
	【諸富館】ブックリサイクル ※再掲	諸富館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	・譲渡数 2,729冊 (1回目:1,113冊/R6.6、2回目:1,616冊/R6.12)	2,000点	内山
	【東与賀館】ブックリサイクル ※再掲	東与賀館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	①-1 除籍(図書)資料の譲渡数 (1,112点/R6.11) ②-1 図書リサイクル参加人数 (249人/R6.11) ①-2 除籍(雑誌)資料の譲渡数 (627点/R6.1~2) ②-2 雑誌リサイクル参加人数 (137人/R6.1~2)	① 2,000点 ② 400人	諸富館 駄原・藤田・戸田・松尾
	【川副館】ブックリサイクル ※再掲	川副館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	・譲渡数 (529冊/R6年度)	600冊	東与賀館 蒲原・鍋島・山崎・古賀
	【久保田館】ブックリサイクル ※再掲	久保田館の除籍した図書・雑誌を、利用者に無償で譲渡する。	イベント	① 譲渡数 (44点/R6年度) ② 参加人数 (20人/R6年度)	① 50点 ② 25人	川副館 西・古賀・横溝
						久保田館 小松・内田・戸谷

令和8年度 佐賀市立図書館 事業管理票

基本目標	④市民と共に変革を進める図書館
方向性	②市民との協働を推進し、市民と共によりよい図書館をつくります。
サービス計画に記載した具体例	○市民団体やボランティアとの協働 ○有識者や市民の意見の活用
「課題」、「留意点」	・ボランティア同士の交流や図書館職員と意見交換ができる機会が必要である。(ボランティアアンケートの意見より)

サービス・事業

	内容	サービス・事業の目的	種別	指標(実績)	R8目標値	R8実績	担当係(館)
							担当者
事業内容	「図書館を友とする会・さが」との協働	イベントの共催や意見交換会への館長の出席等を継続して実施する。	その他事業	①「図書館を友とする会・さが」との共催イベント回数(1回/R6年度) ②意見交換会への館長の出席(1回/R6年度)	① 協働事業 2回 ② 意見交換会 1回		総務企画係 増本
	おはなしボランティアとの協働	おはなしボランティアと協働し、定例や季節のおはなし会を開催する	その他事業	①読み語りボランティアを対象としたアンケートでの総合的な満足度(本館) 91.6%(R6年度) ②おはなし会の開催回数 163回 (本館 72回、大和 33回、諸富 23回、東与賀 21回、富士 12回、久保田 2回/R6年度)	① 本館:92% ② 165回 (本館 74、大和 35、諸富 21、東与賀 21、富士 8、久保田 2)		サービス二係・各分館 原口、各分館長
	対面朗読ボランティアとの協働	対面朗読ボランティアと協働し、本館ハンディキャップサービスコーナーで対面朗読サービスを行う。	その他事業	①対面朗読ボランティアの満足度(75.0%/R6年度) ②対面朗読サービスの実施日数(50日/R6年度)	① 75% ② 100日		サービス一係 吉本
	【本館】 園芸・植栽・館内の花のお世話のボランティアとの協働	外周部の植栽や花壇、館内の花のお世話を 行うボランティアに対し、肥料や苗、備品や 消耗品の提供を行う。また、ボランティア 活動保険の保険料を図書館で負担する。	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係 若松
	市民団体やボランティアを対象としたアンケート調査の実施	図書館で活動する市民団体やボランティア を対象とし、活動の実態や満足度の把握の ためにアンケート調査を実施する。	その他事業	・調査回数(1回/R6年度)	1回		総務企画係 若松
	図書館への手紙(一般)	利用感想などを記載して、図書館に送る ポストを本館に設置するとともに、 手紙と図書館の返事について、館内や ホームページで閲覧できるようにする。	その他事業	※指標の設定なし	-		総務企画係 富吉

事業内容	図書館協議会の開催	有識者と公募委員で構成する図書館長の 諮問機関である「図書館協議会」を開催し、 運営やサービスについて諮問を行う。	その他事業	・開催回数（2回/R6年度）	2回		総務企画係
							増本・吉田
	読み語り講座の開催※再掲	子育て中の人や読み語りに興味のある人、 ボランティア活動をする人が、読み語りの 必要性や基礎知識、技術等を学ぶ	イベント	① 開催回数（2回/R7年度） ② 受講人数（延べ36人/R7年度）	① 2回 ② 40人		サービス二係
							内山・廣重

新しい図書館「SAGA LIBRARY PARK」

本を好きにさせてくれる体験にあふれた図書館を目指して
皆さんの声から生まれた夢やアイデアをカタチにしました。

図書館なのに、公園みたいに過ごせる場所へ

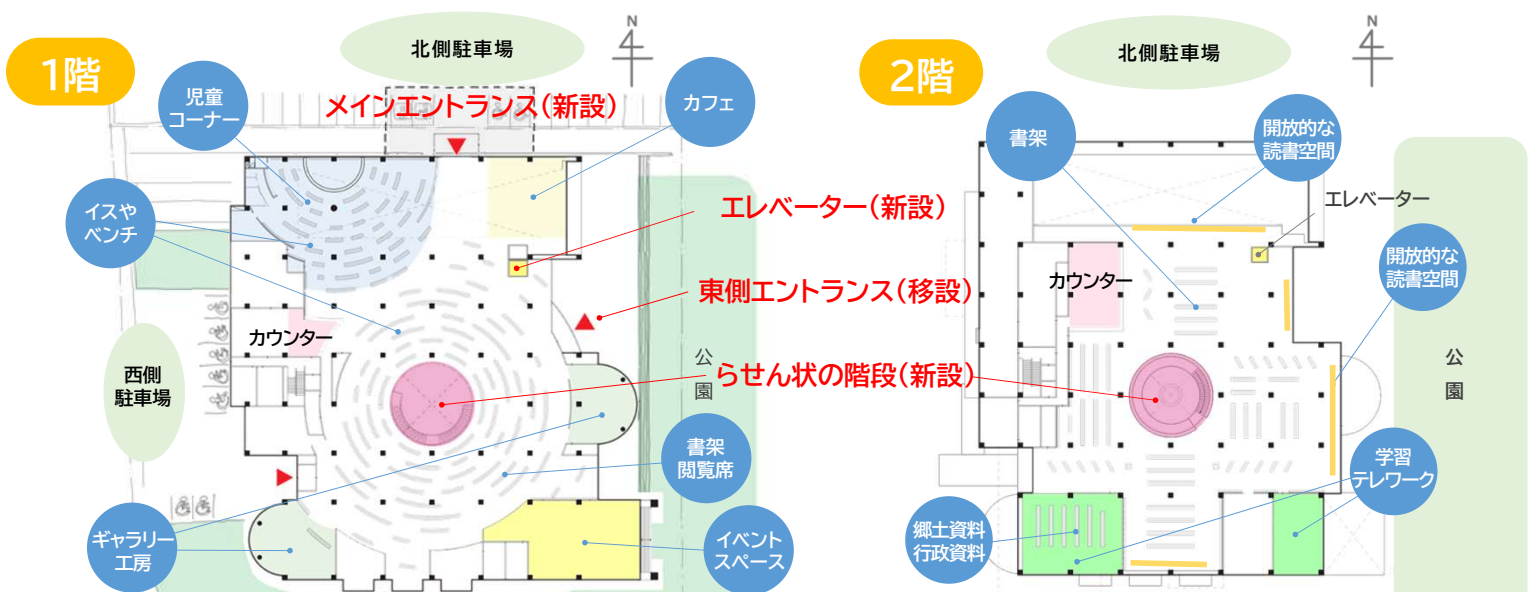


1階

豊かな時間を過ごせるサードプレイスへ



2階



新しい図書館の誕生に向けて、実施設計に着手します

新しい図書館「SAGA LIBRARY PARK」

1. 「基本構想・基本計画」をふまえた基本設計の考え方

佐賀市の未来を育む図書館

- ・人が集まり、まちに賑わいを生み、訪れる人の体験を豊かにする地域の交流拠点にします
- ・周辺環境と一体的に感じられるようにします
- ・30年先も魅力的な場所であり続けます

これからの時代に求められる居場所 (サードプレイス)

- ・利用者の多様な居場所をつくります
- ・安心してすごせる場をつくります
- ・「本を好きになるきっかけ」を生み出す場所にします

2. 「基本構想・基本計画」の策定における「市民の声」への対応

【屋内】

- ・自由にのびのびと過ごせる空間をつくります
- ・様々なイスやベンチを配置します
- ・子供を連れて過ごしやすい環境を整えます
- ・バリアフリーに配慮した動線を整備します

【屋外】

- ・出入口の変更などにより、公園と図書館の行き来を行いやすくします
- ・北駐車場からの利便性を向上させます
- ・屋外イベントを実施しやすくするための環境整備を行います

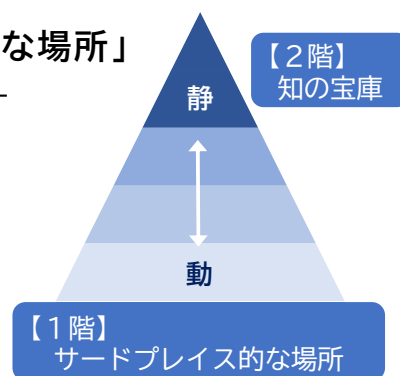
3. 1階と2階の考え方 ～空間特性をふまえて、最適な機能を配置～

【1階】 これからの時代に求められる図書館を育む「サードプレイス的な場所」

- ・公園や外部環境と接する1階は、周辺とつながり、賑わいのある空間をつくります
- ・多様な人が自由に集い、のびのびと過ごせる「サードプレイス的な場所」とします

【2階】 これまでの図書館の魅力を引き継ぐ「知の宝庫」

- ・静かな環境をつくりやすい2階は、集中して本と向き合える空間とします
- ・本を中心としたフロアにし、「知の宝庫」としての役割を担います



4. 図書館本館大規模改修の今後の進め方

- ① 実施設計 令和7年度～令和8年度中
- ② 改修工事 令和9年度中～令和10年度中

※改修工事の間、本館は休館しますが、

分館(大和・富士・三瀬・諸富・川副・東与賀・久保田)、

分室(開成・金立・鍋島・高木瀬・本庄・巨勢) **は開館**します。

また、自動車図書館や電子図書館による図書館サービスも
変わりなく行います。

- ③ 完成・開館 令和10年度中を予定



新しい図書館「SAGA LIBRARY PARK」は、

自由に、のびのびと、気持ち良い時間を過ごせる場所を目指します。